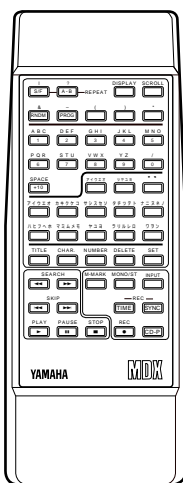
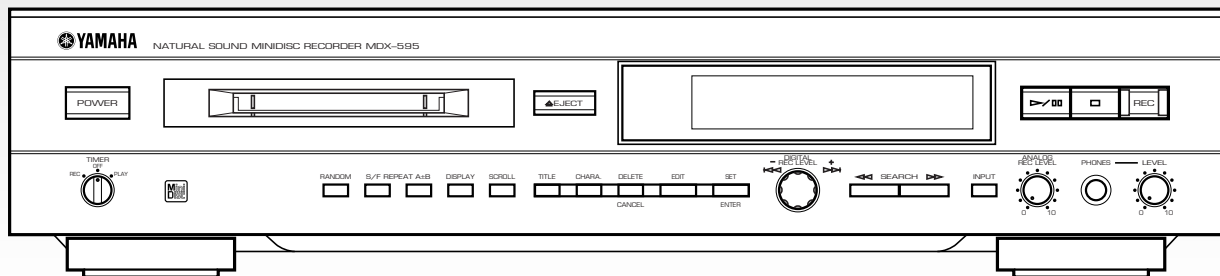




NATURAL SOUND MINIDISC RECORDER

MDX-595

取扱説明書



このたびは、ヤマハミニディスクレコーダーMDX-595をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

MDX-595の優れた性能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みくださいますようお願い致します。

お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合、実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



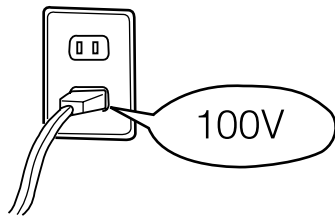
記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

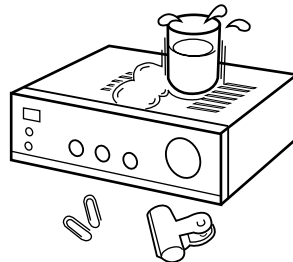
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⊘ 電源電圧交流100V以外の電圧で使用しない



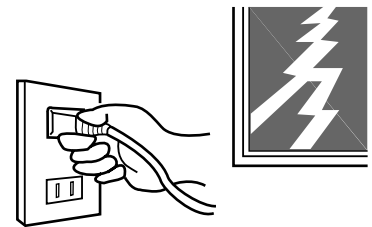
火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。

- ⊘ 水を入れたり、ぬらさない



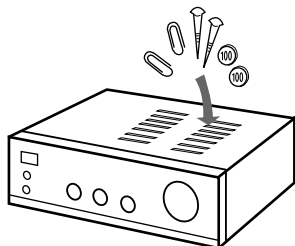
火災・感電の原因となります。本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。

- ⊘ 雷が鳴っているときは、アンテナ線や電源プラグに触れない



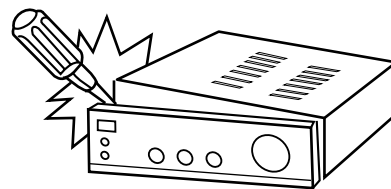
感電の原因となります。

- ⊘ 通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない



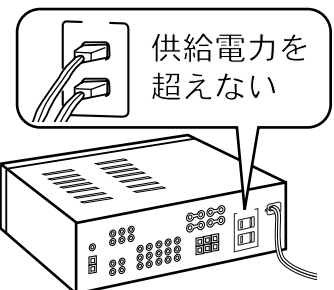
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- ⊘ 分解・改造を絶対しない(キャビネットをはずすことも含む)



火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- ⊘ 供給電力を超える消費電力の機器を、電源供給コンセントに接続しない



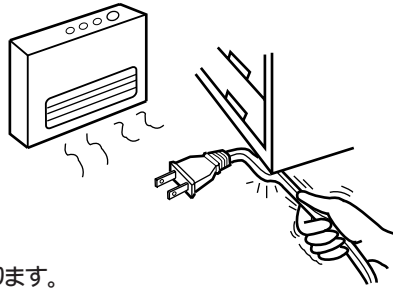
火災の原因となります。接続機器の消費電力の合計が本機背面に表示されている供給電力を超えないようにしてください。また、供給電力内であっても電源を入れたときに大電流の流れる機器(電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器など)は接続しないでください。



警告

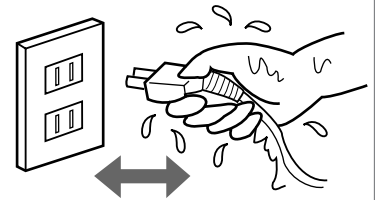
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⊘ 電源コード・プラグを破損するようなことをしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる・ねじる、引っばる、束ねる、重いものをのせるなどしない)



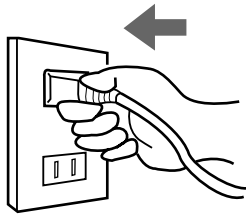
火災・感電の原因となります。
コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

- ⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない



感電の原因となります。

- ❗ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



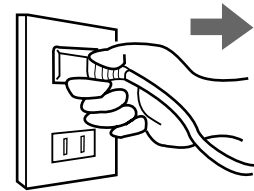
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
抜くときは必ずプラグを持ち、コードを引っばらないでください。
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

- ❗ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



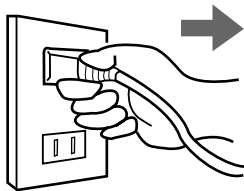
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいでください。

- ⚠ 機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



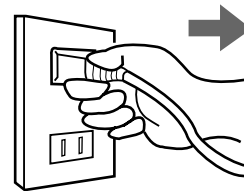
販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- ⚠ 煙が出たり変なにおいや音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く
また、電源プラグの抜き差しがしやすいコンセントに接続する



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- ⚠ 落としたりして本機を損傷した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



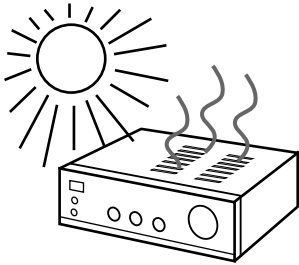
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

安全上のご注意

注意

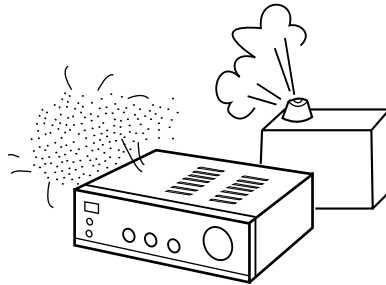
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⊘ 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かない



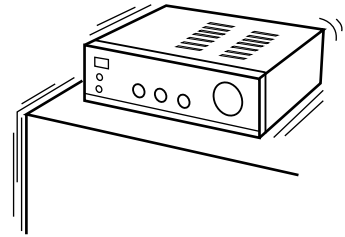
キャビネットや部品に悪い影響を与えたり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。

- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に置かない



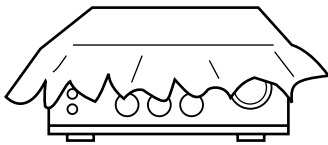
火災・感電の原因となります。

- ⊘ 振動のある場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

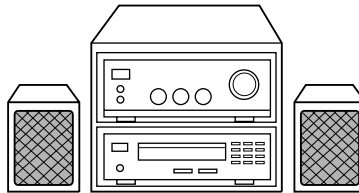
- ⊘ 通風孔をふさがない



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、次の点に注意してください。

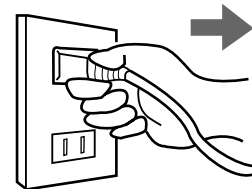
テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

- ⚠ 放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置く



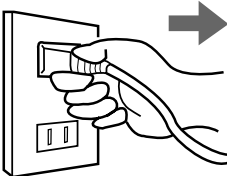
火災・故障の原因となります。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。

- 🔌 各機器を接続する場合は電源プラグを抜き、説明に従って接続する



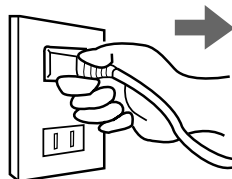
各々の機器の取扱説明書をよく読み、接続には指定のコードを使用してください。

- 🔌 移動するときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜き、外部の接続コードを外す



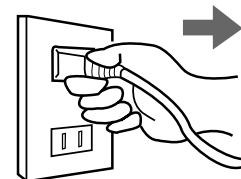
コードが傷つくと火災・感電の原因となります。

- 🔌 お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



感電の原因となります。

- 🔌 長期間使わないときは、必ず電源プラグを抜く

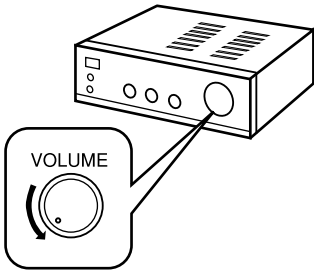


火災の原因となります。

注意

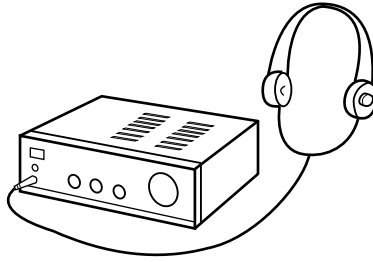
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 電源を入れる前には音量を最小にする



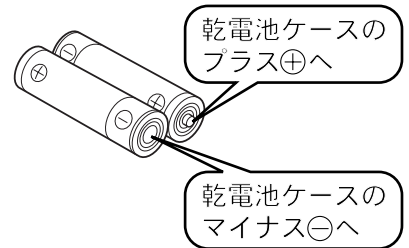
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となります。

⊘ ヘッドホンを使うときは、音量を上げすぎない



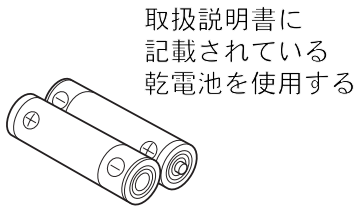
大きな音で聞くと、聴力障害などの原因となります。

⚠ 付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）通りに入れる



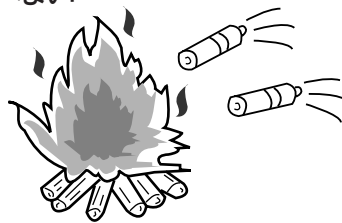
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⊘ 指定以外の乾電池は使用しない



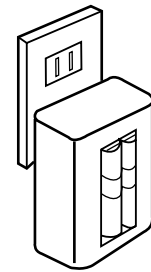
また、種類の違う乾電池、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。

⊘ 乾電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが、やけどの原因となります。

⊘ 乾電池は充電しない



液もれ、破損などを起こし、けが、やけどの原因となります。

⚠ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

⚠ 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。

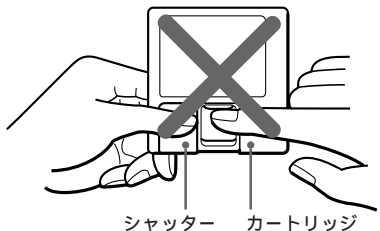
本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除しないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

本機は音楽や映画などを再生する目的で設計されており、従って信号発生器やテストディスクの信号などを再生しますと、本機の故障の原因となるばかりではなく、スピーカーをいためる原因となることがあります。デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください
シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。



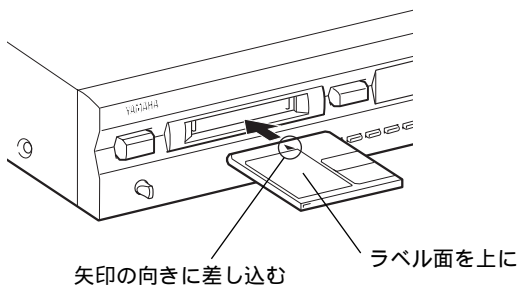
置き場所について

直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。

定期的にお手入れを

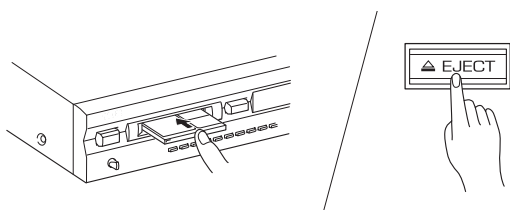
カートリッジ表面についたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクの挿入方法



挿入途中のディスクの取り出し方

挿入途中でディスクを取り出す場合は、一度挿入してから△EJECTボタンを押して取り出してください。



ロック機構が動くとき、挿入途中では取り出せません。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
(チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)

音量を調節するときは

MDはアナログカセットテープに比べ、非常に雑音が少なくなっています。アナログカセットテープのときのように音のない部分で雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がからないように音量でお聞きください。特に夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



結露について

寒いときにお部屋の暖房を入れた直後など、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは、正常に働かないばかりでなく、MDや部品もいためてしまいます。本機をご使用にならないときは、MDを取り出しておくことをお勧めします。

結露が生じたときは、電源を入れたまま、しばらくの間(約1時間)放置し、再度電源を入れ直してからご使用ください。もし何時間たっても正常に動作しない場合は、ヤマハホットラインサービスネットワークにご連絡ください。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本機の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害の保障については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



目次

準備

箱から出したら	8
接続する	8

各部の名称

MDに録音する

MDを再生する

いろいろな録音のしかた

録音するときのご注意	15
録音レベルを調節する	15
タイムレスキュー録音	16
ミュージックシンクロ録音	16
上書き録音	17
録音中に曲番を付ける(マニュアルマーキング)	17
モノラル録音	18
タイマーを使って録音する	18

いろいろな再生のしかた

表示窓の使いかた	19
聞きたい曲を探す(スキップ/ダイレクト選曲)	20
曲の中の聞きたい部分を探す(サーチ)	20
繰り返し聞く(リピート再生)	21
聞きたい部分を繰り返し聞く(A Bリピート)	21
順不同に聞く(ランダム再生)	22
聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)	22
タイマーを使って再生する	23

録音したMDを編集する

編集メニューについて	24
編集の取り消し(Undo機能)	25
1枚のMDのすべての曲を消す(Disc Erase機能)	25
ディスクのタイトル名を消す(Disc Title Erase機能)	26
曲のタイトル名を消す(Track Title Erase機能)	26
曲を移動する(Move機能)	27
1曲を消す(Erase機能)	27
曲の一部を消す(A-B Erase機能)	28

曲を分ける(Divide機能)	29
曲をつなぐ(Combine機能)	30
ディスク(記録領域)の整理(FRA Check機能)	31
TOCの書き込み(TOC Write機能)	31

曲名やディスク名を付ける

リモコンで曲名やディスク名を付ける	32
本体で曲名やディスク名を付ける	33
名前やディスク名を変更する	33

その他

デジタル録音のルール (シリアルコピーマネージメントシステム)	34
システム上の制約について	35
メッセージ表示一覧	36
故障かな?と思ったら	37

索引

参考仕様

ヤマハホットラインサービスネットワーク

この取扱説明書の使いかた

- 「準備」(8ページ)をご覧ください。接続などの準備を済ませてください。
- 基本的な使いかたは、「MDに録音する」MDを再生する」(12,14ページ)をご覧ください。
- この取扱説明書では、主に本体での操作のしかたを説明しています。
- リモコンでは、本体と同じ表示のボタンを使って、同様に操作できます。本体とリモコンのボタン表示が違う場合は、リモコンでの操作を()で説明しています。
例)▷/⏏(プレイ/ポーズ)ボタンを押す。
(リモコンではPLAY▷ボタンを押します。)
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	リモコンで操作できます。
	知っている便利な情報です。



準備

箱から出したら

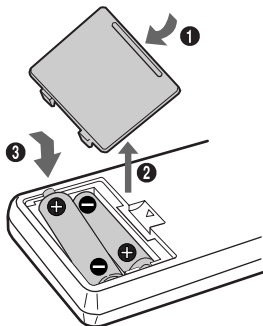
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- オーディオ接続コード(ピンプラグ×2) 2本
- オーディオ用光伝送ケーブル 1本
- リモコン
- 単3形乾電池SUM-3 2個
- 保証書
- 取扱説明書(本書)

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店にご連絡ください。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池2個(付属)を入れる。



ヒント 乾電池の寿命は約6か月です

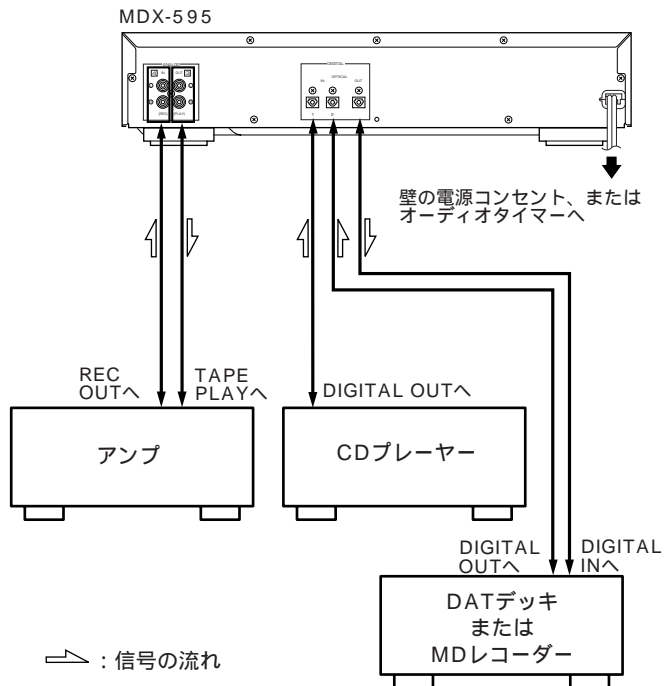
残りが少なくなると、リモコンで操作できる距離が短くなります。これを目安にして、2個とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - +と-の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液もれしたときは、電池入れについた液を綿棒などでよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

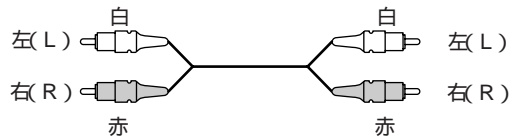
接続する

アンプ、CDプレーヤー、DATデッキなどとMDレコーダーをつなぎます。接続するときは、各機器の電源を必ず切ってください。

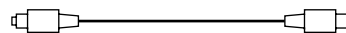


1. 必要な接続コードを用意する。

- オーディオ接続コード 2本(付属)

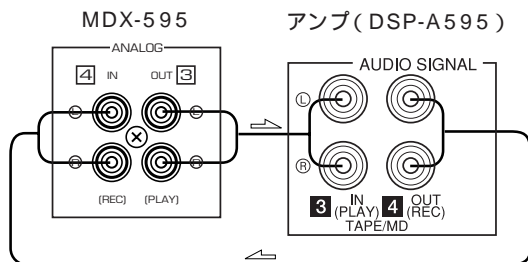


- オーディオ用光伝送ケーブル1本(付属)



2. つなぐ。

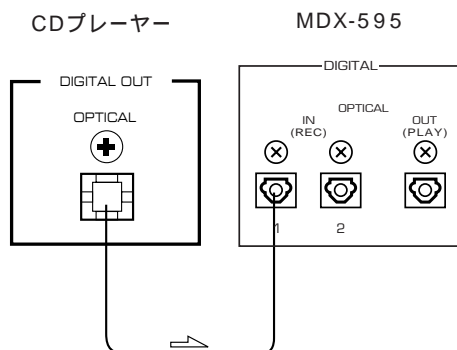
- アンプにつなぐとき
オーディオ接続コード(付属)を使います。
白(L)端子には白プラグを、赤(R)端子には赤プラグをつなぎます。つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。
ヤマハDSP-A595などをご使用の場合は、**3**と**4**の番号がついた端子をそれぞれ接続してください。



⇒ : 信号の流れ

- デジタル機器につなぐとき (CDプレーヤーやDATデッキ、他のMDレコーダー、光デジタル入出力端子のあるアンプなど)
CDプレーヤーなどのデジタル出力端子とMDX-595のデジタル入力端子をつなぐと、MDX-595にデジタル録音できます。

オーディオ用光伝送ケーブル(付属)を使います。ケーブルはしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まないと音が出なかったり、途切れたりする原因となります。

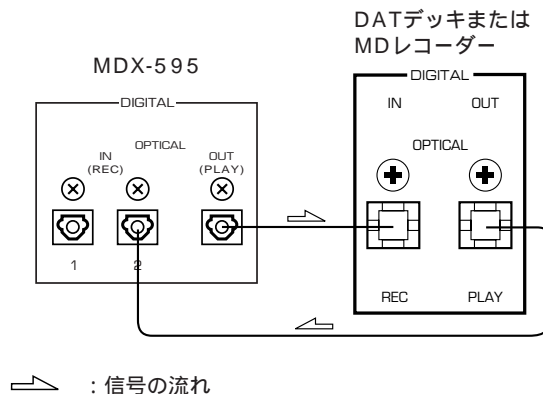


⇒ : 信号の流れ

本機は「シリアルコピーマネージメントシステム」に準拠しています。
デジタル録音したMDをさらにデジタル録音することはできません(34ページ)。

MDX-595のデジタル出力端子と、外部デジタル機器(DATデッキや他のMDレコーダーなど)のデジタル入力端子をつなぐと、外部デジタル機器にデジタル録音できます。

オーディオ用光伝送ケーブル(市販)を使います。



また外部デジタル機器のデジタル出力端子と、MDX-595のデジタル入力端子をつなぐと、MDX-595にデジタル録音できます。

オーディオ用光伝送ケーブルを使用する場合は、端子についているキャップを抜いてから、プラグをしっかりと差し込みます。

【ヒント】 モニターアウト機能

本機はモニターアウト機能を搭載しています。本機の電源が入っていて、ディスクが挿入されていない場合は、入力端子から入ってきた情報を出力端子にモニターアウトします。

「No Disc」表示中にRECボタンを押すと、モニターアウトのオン/オフを切り替えることができます。また、□(ストップ)ボタンを押すとオフになります。入力(アナログ、またはデジタル)はINPUTボタンで切り替えます。

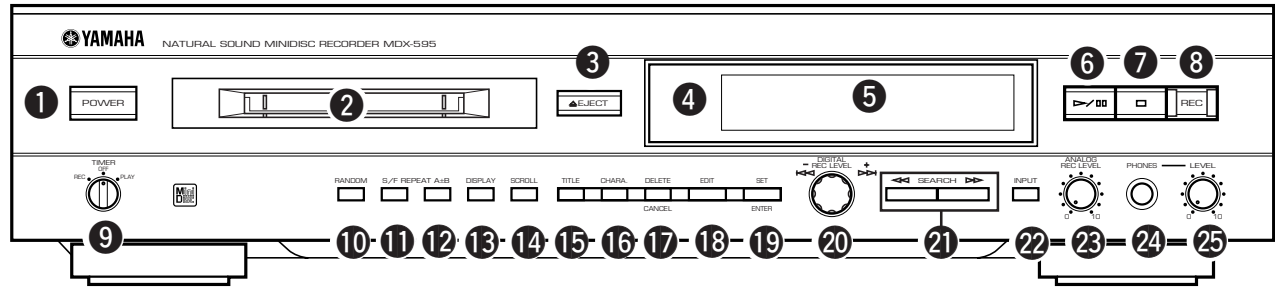
3. 電源コードをコンセントにつなぐ。

電源コンセント、またはオーディオタイマーにつなぎます。

基本的な使いかたは、「MDに録音する」、「MDを再生する(12,14ページ)をご覧ください。その他の使いかたは、15ページからの説明をご覧ください。

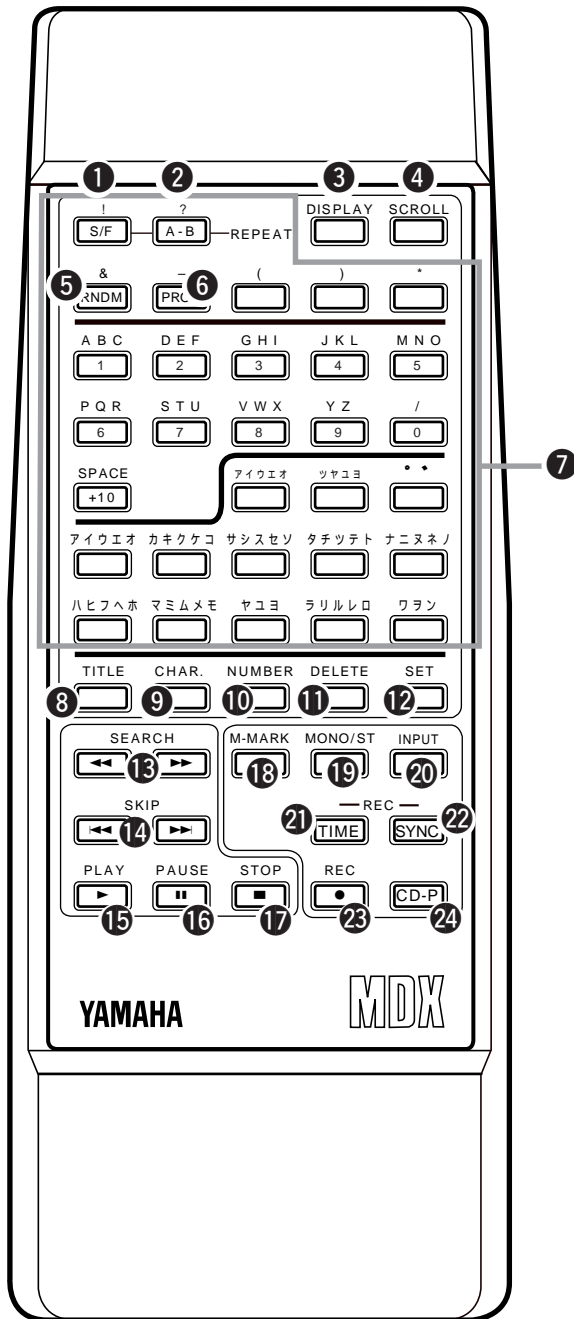


各部の名称



	参照ページ		参照ページ
① POWER(電源)スイッチ	12, 14	⑮ TITLE(タイトル)ボタン	33
② ディスク挿入口	12, 14	⑯ CHARA(キャラクター)ボタン	33
③ EJECT(イジェクト)ボタン	12, 14	⑰ DELETE/CANCEL (デリート/キャンセル)ボタン	25 ~ 31, 33
④ リモコン受光部		⑱ EDIT(エディット)ボタン	25 ~ 31
⑤ 表示窓	19	⑲ SET/ENTER (セット/エンター)ボタン	17, 25 ~ 31
⑥ ▷/⏸(プレイ/ポーズ)ボタン	13, 14	⑳ ジョグダイヤル(◀◀/▶▶)/DIGITAL REC LEVEL (デジタル録音レベル)つまみ	13 ~ 15, 20
⑦ ◻(ストップ)ボタン	13, 14	㉑ SEARCH◀◀/▶▶(サーチ)ボタン	20
⑧ REC(録音)ボタン	13	㉒ INPUT(インプット)ボタン	12
⑨ TIMERつまみ	18, 23	㉓ ANALOG REC LEVEL (アナログ録音レベル)つまみ	15
⑩ RANDOM(ランダム)ボタン	22	㉔ PHONES(フォーンズ)端子	14
⑪ REPEAT S/F (リピートシングル/フル)ボタン	21	㉕ PHONES LEVEL(フォーンズレベル)つまみ	14
⑫ REPEAT A-B(リピートエービー)ボタン	21		
⑬ DISPLAY(ディスプレイ)ボタン	19		
⑭ SCROLL(スクロール)ボタン	19		

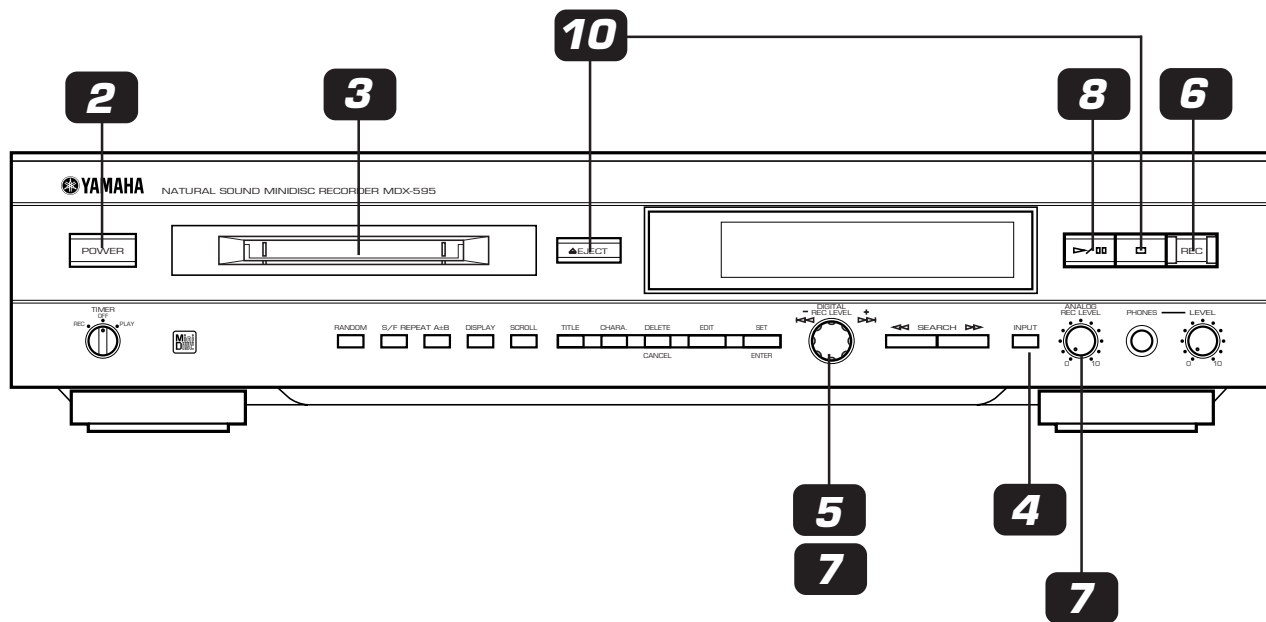
参照ページ



- ① REPEAT S/F(リピーティング/フル)ボタン ... 21
- ② REPEAT A-B(リピーター)ボタン 21
- ③ DISPLAY(ディスプレイ)ボタン 19
- ④ SCROLL(スクロール)ボタン 19
- ⑤ RNDM(ランダム)ボタン 22
- ⑥ PROG(プログラム)ボタン 22
- ⑦ アルファベット/数字/記号/カタカナボタン ... 32
- ⑧ TITLE(タイトル)ボタン 32
- ⑨ CHAR(キャラクター)ボタン 32
- ⑩ NUMBER(ナンバー)ボタン 32
- ⑪ DELETE(デリート)ボタン 22, 32
- ⑫ SET(セット)ボタン 32
- ⑬ SEARCH<</>>
(サーチ: 早戻し/早送り)ボタン 20
- ⑭ SKIP <</>>(頭出し)ボタン 20
- ⑮ ▷PLAY(プレイ: 再生)ボタン 13, 14
- ⑯ ⏸PAUSE(ポーズ: 一時停止)ボタン 13, 14
- ⑰ □STOP(ストップ)停止)ボタン 13, 14
- ⑱ M-MARK
(マニュアルマーキング)ボタン 17
- ⑲ MONO/ST(モノラル/ステレオ)ボタン 18
- ⑳ INPUT(インプット: 入力)ボタン 12
- ㉑ TIME REC(タイムレスキュー録音)ボタン 16
- ㉒ SYNC REC
(ミュージックシンクロ録音)ボタン 16
- ㉓ REC(レック: 録音)ボタン 13
- ㉔ CD-P(CDプレイ)ボタン 12

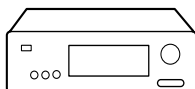


MDに録音する.....



1 録音したい音源とアンプの電源を入れ、アンプでその音源を選ぶ。

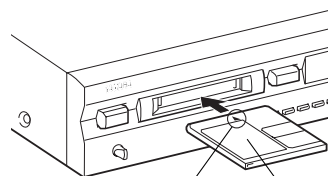
アンプ



2 電源を入れる。
表示窓に“ No Disc ”などが表示されます。

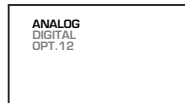


3 録音用MDを入れる。

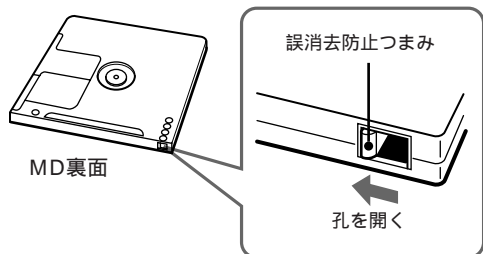


矢印の向きに差し込む ラベル面を上

4 入力ソースを選択する。
INPUT(入力)ボタンを押して、入力ソース(録音したい音源)を選択します。



録音内容を間違っって消さないために
誤消去防止つまみをずらして、孔を開いた状態にします。
再び録音するときは、つまみを元に戻します。



リモコンのCD-Pボタンを押すと...
ヤマハ製CDプレーヤーの再生がスタートします。

音源がつながっている端子	入力ソース (ディスプレイ表示)
アナログ入力(REC 端子)	ANALOG
デジタル入力OPTICAL1端子	DIGITAL OPT.1
デジタル入力OPTICAL2端子	DIGITAL OPT.2

5 録音を始める位置を決める。

新しいMDに録音するとき、または録音済みMDに追加録音するときは...

この手順とはばす。

録音済みの曲を消しながら録音するときには...

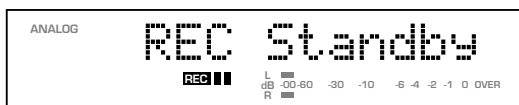
その曲番が表示されるまで、ジョグダイヤルを回す。
(リモコンでは、SKIP<<<または>>>ボタンを押します。詳細は17ページ「上書き録音」をご覧ください。)

ヒント 手順5で、曲の途中から録音できます。

▷/◀(プレイ/ポーズ)ボタン(リモコンではPLAY▷ボタン)を押して、途中から録音したい曲を再生し、録音を始めたい所で、もう1回▷/◀(プレイ/ポーズ)ボタン(リモコンではPAUSE◻ボタン)を押します。このあと手順6以降を行います。詳細は17ページ「上書き録音」をご覧ください。

6 REC(録音)ボタンを押す。

「REC Standby」が点滅表示して、録音待機状態になります(まだ録音は始まりません)。



ヒント サンプリングコンバーター機能

本機はサンプリングコンバーターを内蔵しているため、3種類のサンプリング周波数(32k/44.1/48kHz)の音源に対応します。(自動的に周波数が切り替わり、表示窓に表示されます。)

32 44.1 48
kHz

注意

選択した入力ソース(デジタル)の電源が入っていない場合は「DiGin Unlock」が表示されます。

7 録音レベルを調節する。

録音する音源を演奏させます。

手順4で入力ソース「DIGITAL OPT. 1/2」を選択したときはDIGITAL REC LEVELつまみ、「ANALOG」を選択したときはANALOG REC LEVELつまみで録音レベルを調節します。ピークレベルメーターの赤(OVER)が点灯しない程度に調節します。

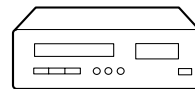
詳しくは、15ページをご覧ください。

8 録音をスタートする。

▷/◀(プレイ/ポーズ)ボタンを押すと(リモコンではPLAY▷ボタンを押すと)録音がスタートします。

9 録音したい音源の演奏を始める。

CDプレーヤーなど



10 録音をストップする。

録音が終わったら、◻(ストップ)ボタンを押し、△EJECT(MD取り出し)ボタンを押してMDを取り出します。

注意

本機は、電源を入れたとき、MDを入れたとき、取り出すときなどに「TOC Reading」「TOC Writing」などのメッセージを表示します。本機の操作は、メッセージが消えてから行ってください。メッセージ表示中は本機は正しく働かないことがあります。

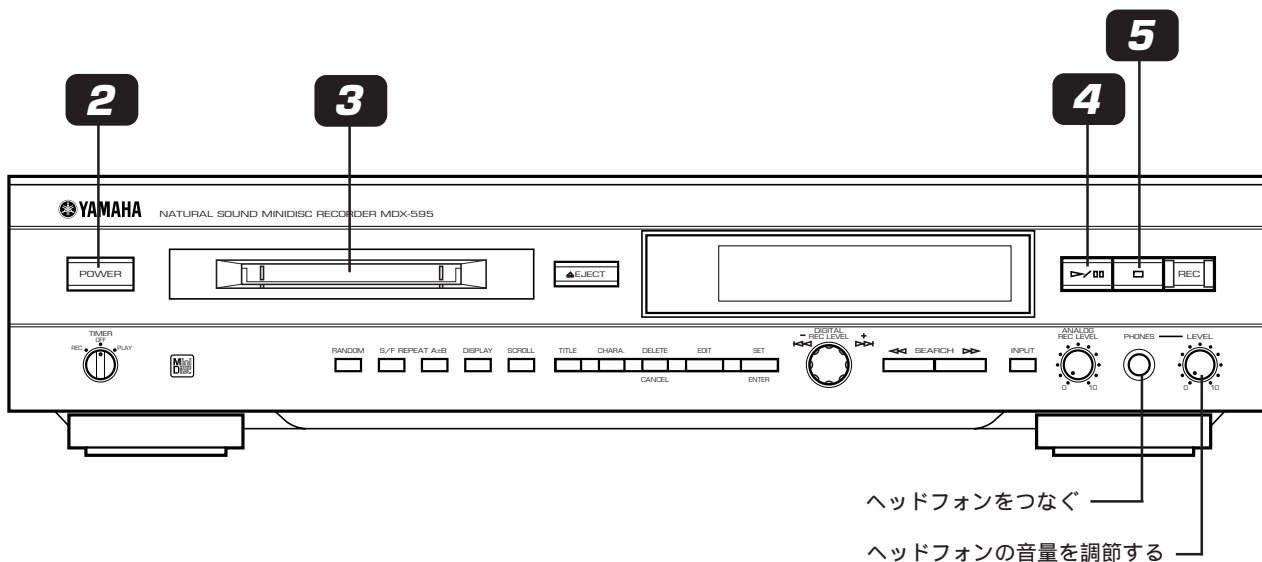
操作目的	操作のしかた
一時停止する*	▷/◀(プレイ/ポーズ)ボタン(リモコンではPAUSE◻ボタン)を押す。 もう1度押すと、再び録音が始まる。(リモコンではPLAY▷ボタンを押す。)
録音を止める	◻(ストップ)ボタンを押す。
MDを取り出す	◻(ストップ)ボタンを押し、△EJECTボタンを押す。

* 録音を一時停止すると、曲番は変わります。例えば、4曲目を録音中に一時停止したあと、再び録音を始めると、そこからは5曲目として録音されます。

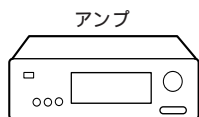
録音を停止すると、表示窓に「TOC...」が表示されます。「TOC...」表示中は、録音した内容(TOC)をMDに記録しているので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機をゆらしたりしないでください。正しく録音されないことがあります。TOCとは「Table of Contents」の略で、曲名などのテキスト情報や、音の情報などを表します。



MDを再生する.....

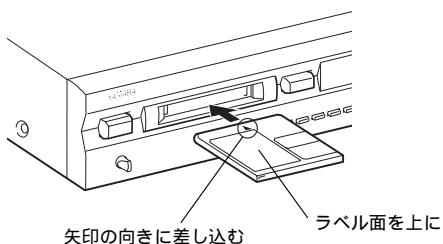


1 アンプの電源を入れ、入力切り換えでMDを選ぶ。



2 電源を入れる。
表示窓に「No Disc」などが表示されます。

3 MDを入れる。



4 再生をスタートする。
▷/⏪(プレイ/ポーズ)ボタンを押す(リモコンではPLAY▷ボタンを押す)と、再生がスタートします。
アンプで音量を調節します。

ヒント 手順**4**で、曲番を選んで再生を始めることができます。

- 1 再生したい曲番が表示されるまで、ジョグダイヤルを回す。
- 2 ▷/⏪(プレイ/ポーズ)ボタンを押す。
(リモコンではPLAY▷ボタンを押します。)

ご注意

本機は、電源を入れたとき、MDを入れたとき、取り出すときなどに「TOC Reading」「TOC Writing」などのメッセージを表示します。本機の操作は、メッセージが消えてから行ってください。メッセージ表示中は本機は正しく働かないことがあります。
TOCとは「Table of Contents」の略で、曲名などのテキスト情報や、音の情報などを表します。

5 再生をストップする。
□(ストップ)ボタンを押すと、再生がストップします。

操作目的	操作のしかた
一時停止する	▷/⏪(プレイ/ポーズ)ボタンを押す。(リモコンではPAUSE⏸ボタンを押す。)もう一度押すと、再び再生が始まる。(リモコンではPLAY▷ボタンを押す。)
次の曲へ進む	ジョグダイヤルを右に回す。(リモコンでは、SKIP ⏭ボタンを押す。)
前の曲へ戻る	ジョグダイヤルを左に回す。(リモコンでは、SKIP ⏮ボタンを押す。)
MDを取り出す	□(ストップ)ボタンを押し、EJECTボタンを押す。



いろいろな録音のしかた

基本的な使いかたは、「MDに録音する」(12ページ)をご覧ください。

録音するときのご注意

「Protected」が表示されたときは...

MDが誤消去防止状態になっています。誤消去防止つまみをずらして、孔が閉じた状態にすれば録音できます(「録音内容を間違っ
て消さないために」12ページ)。

「DIGin Unlock」が表示されたときは...

- 入力ソースに「DIGITAL...」を選択しているのに、録音したい音源がデジタル入力端子につながっていません。入力ソースに「ANALOG」を選択するか、音源をデジタル入力端子につなぎ直してください。
- 入力ソースの電源が入っていません。入力ソースの電源を入れてください。
- デジタル録音中にデジタル信号の入力が中断しました。録音を続けるときは、音源をもう一度再生します。録音をやめるときは、本機の(ストップ)ボタンを押します。

録音したい入力ソースによって曲番の付きかたが異なります。

- CDまたはMDが音源で、入力ソースに「DIGITAL...」を選択して録音する場合...
曲番は、音源のCDやMDと同じように付きます。ただし、同じ曲を繰り返し録音するときは、繰り返した部分に対して、曲番は1つしか付かないことがあります。また、MDが音源のとき、4秒以下の曲には曲番が付かないことがあります。
- アナログ入力を選択してマニュアルマーキングがオンになっている(MANUAL点灯)場合...
録音した部分全体で1曲として扱うため、曲番は1つしか付きません。ただしマニュアル(手動)操作することにより、録音中または録音後に好きなところに曲番を付けることができます。
- マニュアルマーキングがオフになっている(MANUAL消灯)場合... 曲番は自動的に付きます。
詳細は17ページを参照ください。

「TOC...」が表示されているときは...

録音した内容(TOC)をMDに記録しているので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機をゆらしたりしないでください。正しく録音されないことがあります。

TOCとは「Table of Contents」の略で、曲名などのテキスト情報や、音の情報などを表します。

本機は「シリアルコピーマネージメントシステム」に準拠しています。

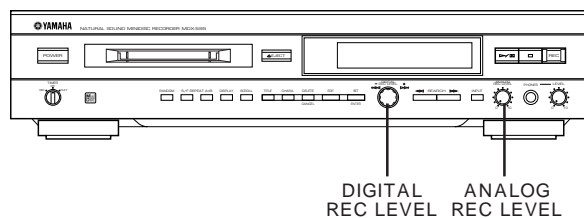
デジタル録音したMDをさらにデジタル録音することはできません(34ページ)。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先

(社)私的録音補償金管理協会 Tel. 03-3506-8407

録音レベルを調節する



1. 「MDに録音する」(12ページ)の手順**1~6**を行う。

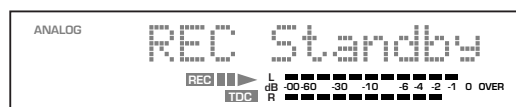
2. 録音したい音源の一番大きい音の再生レベルの一番高い部分を演奏します。

3. 録音レベルを調節する。

入力ソースの種類(デジタル/アナログ)に合わせて、調節するつまみ(DIGITAL REC LEVEL / ANALOG REC LEVEL)があります。

入力ソース「DIGITAL OPT. 1/2」を選択したときはDIGITAL REC LEVELつまみ、「ANALOG」を選択したときはANALOG REC LEVELつまみを使用します。

録音レベルの調節は、デジタル・アナログ録音ともピークレベルメーターの赤(OVER)が点灯しない程度にしてください。



デジタル録音レベル

デジタル録音レベルは、入力ソースのレベルのまま録音できる「0dB」に初期設定されています。通常、調節は不要ですが、入力ソースによって録音レベルを変えることができます。その場合、調節した録音レベルは録音停止するまで保持していますが、録音停止すると初期設定「0dB」のレベルに戻ります。

アナログ録音レベル

アナログ録音レベルは、随時調節したレベルで録音されます。

4. 音源の演奏を止める。

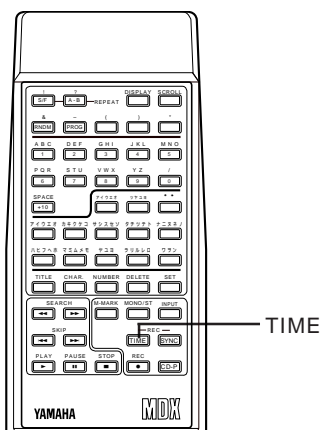
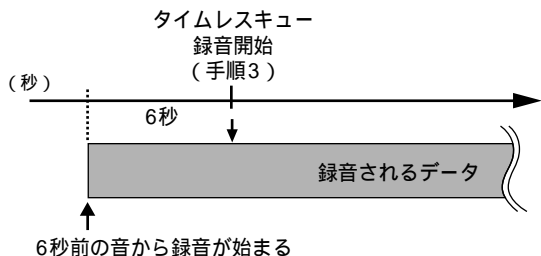
5. 録音を始めるときは、「MDに録音する」(13ページ)の手順**8**から行う。

いろいろな録音のしかた.....



タイムレスキュー録音

本機は録音待機状態になると、最大6秒間の演奏データ(音)をいったん内部のメモリーに蓄えています。TIMEボタンを押して録音をスタートすれば、6秒前の音から録音することができ、衛星放送やFM放送のエアーチェックなどで録音開始のタイミングが遅れて曲の頭の部分が録音できなかった、といった失敗を防ぐことができます。



1. 「MDに録音する(12ページ)の手順1~7」を行う。

2. 録音したい音源の演奏を始める。

3. タイムレスキュー録音をスタートする。
録音したい曲の演奏が始まったら、リモコンのTIMEボタンを押すと、タイムレスキュー録音が始まります。

4. 録音をストップする。
録音が終わったら、□(ストップ)ボタンを押します。

注意

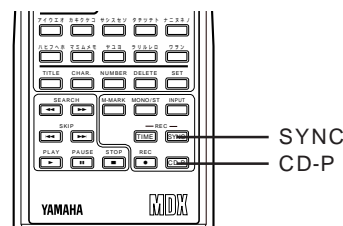
さかのぼって録音できる時間は、録音待機状態以降6秒以内です。録音待機状態以前の演奏データや、6秒以上経過した演奏データは録音できません。



ミュージックシンクロ録音

入力ソースの信号に対して、本機を同期させて録音(シンクロ録音)することができます。入力ソース側の演奏が始まると、自動的に録音を開始します。

* 低いレベルの信号(デジタル/アナログ共)は、音楽信号とみなさないことがあります。曲の頭が欠けて録音されるような場合は、通常録音にします。



1. 「MDに録音する(12ページ)の手順1~4」を行う。

2. 入力ソースの演奏準備をしておく。
CDプレーヤーなどの入力ソースで録音したい曲を選択しておきます。

3. ミュージックシンクロ録音の待機状態にする。
リモコンのSYNCボタンを押すと「Synchro REC」が点滅表示して、ミュージックシンクロ録音の待機状態になります。



入力ソースがデジタルの場合、録音レベルは入力ソースのレベルのまま録音され、アナログの場合には、録音直前に調節されたレベルで録音されます。(15ページ)

4. 入力ソース側の演奏を始める。(ミュージックシンクロ録音のスタート)

入力ソース側の演奏をスタートすると、ミュージックシンクロ録音が始まります。
演奏が終わると「Synchro REC」を点滅表示して、自動的にミュージックシンクロ録音の待機状態に戻ります。

ヒント リモコンのCD-Pボタンを押すと・・・
ヤマハ製CDプレーヤーの再生がスタートします。

5. 録音をストップする。
□(ストップ)ボタンを押すと、「REC Stop!」を表示して録音を終了します。

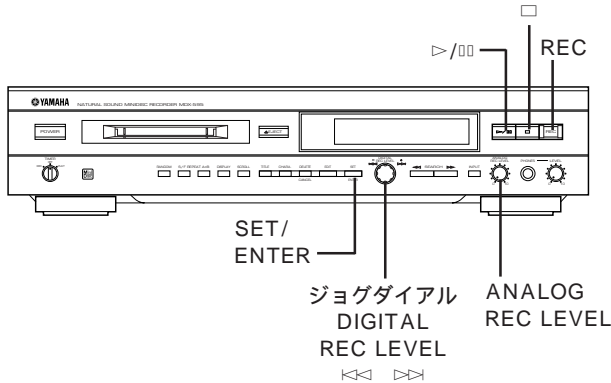


上書き録音

録音済みの曲に上書きすることができます。曲の頭から上書きすることも、途中から上書きすることもできます。

ご注意

上書き録音した曲以降のデータはすべて消去されます。たとえば6曲録音されているディスクの4曲目を上書き録音すると、5曲目と6曲目のデータは消去されます。



1. ジョグダイヤルを回して上書き録音する曲を選ぶ。

曲の途中から上書き録音する場合は、再生して上書き録音を開始する位置で一時停止しておきます。

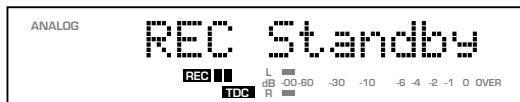
2. RECボタンを押す。

RECボタンを押すと「OverWriteOK?」が表示されます(「OK」点滅)。



3. SET/ENTERボタンを押す。

SET/ENTERボタンを押すと「REC Standby」が点滅して、上書き録音の待機状態になります。(この時点で元の曲は削除されます。曲の途中から上書き録音する場合は、それ以前の部分は残っています。)



録音レベルを調節する場合は、DIGITAL REC LEVEL(デジタル)/ANALOG REC LEVEL(アナログ)つまりで調節します(15ページ)。

4. 上書き録音をスタート/ストップする。

▷/⏪(プレイ/ポーズ)ボタン(リモコンではPLAY▷ボタン)を押すと上書き録音が始まります。□(ストップ)ボタンを押すと録音がストップします。

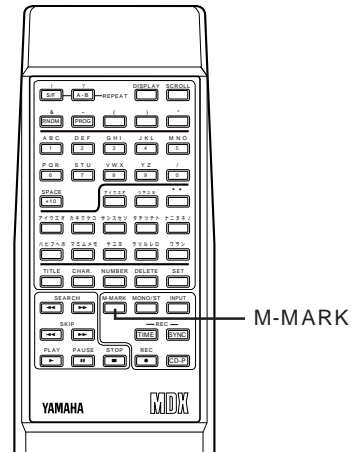


録音中に曲番を付ける

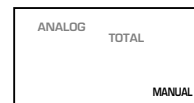
(マニュアルマーキング)

本機は自動的に曲番を付けて録音しますが、録音中に自分で曲番を付けることもできます(マニュアルマーキング)。曲の途中で曲番を付けておけば、録音後に編集がしやすくなります。

* ミュージックシンクロ録音のときは、マニュアルマーキングできません。



リモコンのM-MARKボタンを押します。表示窓に「MANUAL」が点灯します。



録音中、好きなところでM-MARKボタンを押すと、その位置に新しい曲番が付きます。

ヒント 曲番を付け間違えたときは・・・

曲の途中でM-MARKボタンを誤って押してしまったり、曲番を付け忘れた場合は、もう一度録音し直すか、録音後にコンバイン機能(30ページ)やディバイド機能(29ページ)を使って、編集することもできます。

ヒント 録音後に曲番を付けることもできます。

編集操作で曲を分けることもできます。この時、曲番が1つずつ加算されて記録されます。詳細は29ページ「曲を分ける」をご覧ください。

オートマーキング

本機は通常の状態では録音すると、曲番が自動的に付いて録音されます。これをオートマーキングと呼びます。

ご注意

入力ソースに「ANALOG」が選択されている場合、録音したい音源の入力信号が2秒以上続けて一定のレベル以下にならないとオートマーキングは動きません。また、ノイズ等の影響で正しくオートマーキングできない場合があります。このときは、マニュアルマーキングで曲番を付けてください。

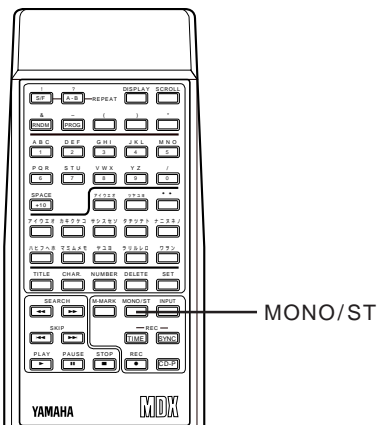
いろいろな録音のしかた.....



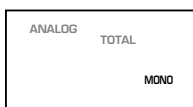
モノラル録音

録音する内容が会話や会議など音質を問わないもの場合は、モノラル録音することができます。

モノラル録音はディスクの録音時間が倍になります。



リモコンのMONO/STボタンを押して、表示窓に「MONO」が表示されると、モノラル録音可能になります。



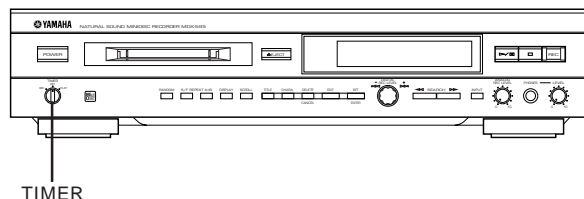
注意

モノラルでミュージックシンクロ録音する場合はSYNCボタンを押す前に、モノラルに切り替えておいてください。

録音方法については、12ページを参照してください。

タイマーを使って録音する

市販のタイマーをつなぎ、希望の時刻に録音を始めることができます。タイマーの取扱説明書も併せてご覧ください。



1. 「MDに録音する(12ページ)の手順1~4を行う。

2. 入力ソースがアナログの場合、録音レベルを調節する。

- 入力ソースがデジタル(DIGITAL OPT 1/2)の場合は、録音レベルは0dBで録音されます。

3. 本機のTIMERつまみを「REC」に合わせる。

4. タイマーを希望の時間に合わせる。

タイマーの開始/終了時間をセットします。本機の電源が切れた後、セットした時刻に録音が始まります。

5. 録音が終了したら...

本機のTIMERつまみを「OFF」に合わせ、タイマーの電源を入れるなどして本機を必ず通電状態にする。

- TIMERつまみを「REC」のままにしておくと、次に電源が入ったときに自動的に録音が始まってしまいます。
- 本機に通電されない状態が約1週間続くと、タイマー録音した内容が消えてしまうことがあります。

注意

- タイマー録音のときは、すでに録音されている内容に続けて録音されます。
- タイマー録音で録音した内容は、次に電源を入れたときにMDに記録されます。このとき、「TOC Writing」を表示します。この間に本機をゆらしたり、電源を切ったりしないでください。
- タイマー録音中にMDの残り時間がなくなったときは、その時点で録音を中止します。



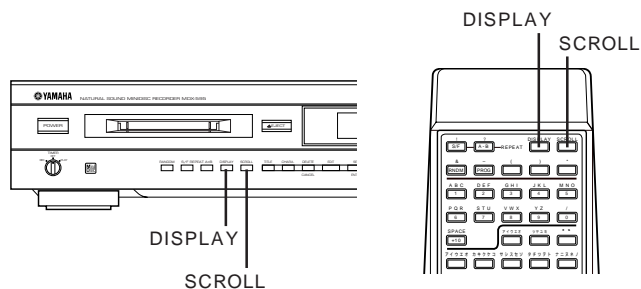
いろいろな再生のしかた

基本的な使いかたは、「MDを再生する」
(14ページ)をご覧ください。



表示窓の使いかた

表示窓を使って、MDの全曲数や全再生時間、MDの残り時間、ディスク名などを調べることができます。

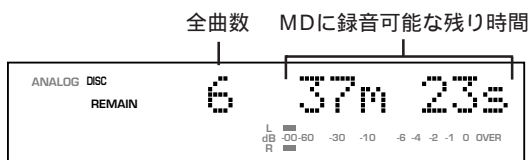
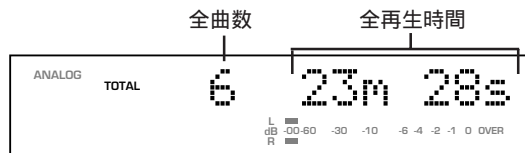


「TOTAL」または「DISC」表示中は...

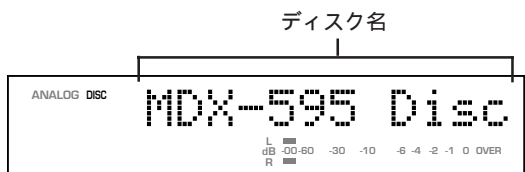
(MDを入れた時、再生を終了した時)

全曲数と全再生時間・MDの残り時間・ディスク名を調べることができます。

停止中にDISPLAYボタンを押す。
押すたびに、表示は次のようになります。



再生専用のMDでは表示されません。



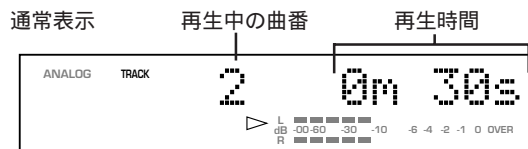
また、MDを入れたときにも、全曲数や全再生時間、ディスク名が表示されます。

「TRACK」表示中は...

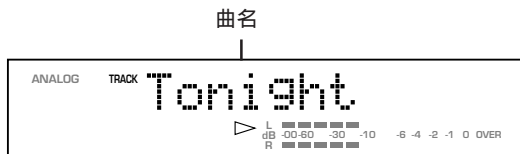
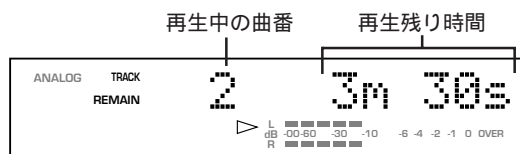
(ジョグダイヤルやリモコンのSKIP <<または>>ボタンで曲を選んだ時)

再生中の曲番と再生時間・曲の残り時間・曲名を調べることができます。

再生中、DISPLAYボタンを押す。
押すたびに、表示は次のようになります。



停止中は表示されません。



曲名が記録されていない場合は「No Title」が表示されます。

再生中、いつでも曲名を見ることができます。
再生中にSCROLLボタンを押すと、いつでも曲名を見ることができます。曲名のスクロール中にSCROLLボタンを押すと、スクロールがストップします。もう1度SCROLLボタンを押すと、再びスクロールが始まります。スクロール後は、元の表示に戻ります。
SCROLLボタンを押し続けると、速くスクロールします。

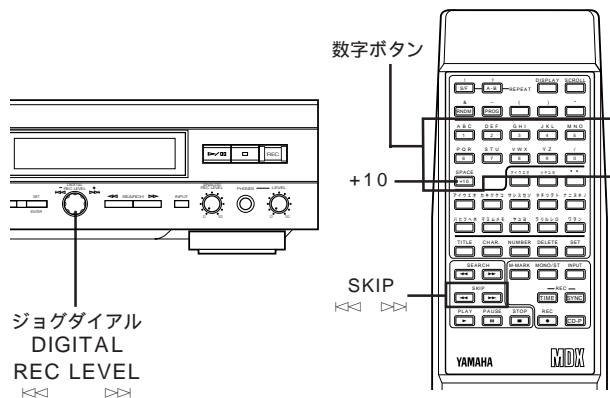
いろいろな再生のしかた.....



聞きたい曲を探す

(スキップ/ダイレクト選曲)

次の3通りの方法があります。



探しかた	操作のしかた
次の曲を頭出しする (スキップ)	再生中、ジョグダイヤルを右に回す。(リモコンではSKIP▶▶ボタンを押す。)
再生中の曲または前の曲を頭出しする (スキップ)	再生中、ジョグダイヤルを左に回す。(リモコンではSKIP◀◀ボタンを押す。)
曲番で直接選ぶ (ダイレクト選曲)	リモコンで、聞きたい曲番の数字ボタンを押す。(すぐに再生が始まります。)

曲の頭で一時停止するには...
一時停止中、ジョグダイヤルを回す。
(リモコンでは、一時停止中にSKIP◀◀または▶▶ボタンを押します。)

MDの最後の曲から選ぶには...
MDの全曲数と全再生時間(19ページ)を表示しているときに、ジョグダイヤルを左へ回す。
(リモコンではSKIP◀◀ボタンを押します。)

ヒント ダイレクト選曲で、10曲目以降を選ぶときはリモコンの+10ボタンを押して「10の位」、1~0ボタンを押して「1の位」という順番で入力します。+10ボタンは押すたびに、「10の位」の数字が1つずつ大きくなります。

- 例：20曲目を選ぶとき
数字ボタンを、+10 +10 0の順に押す。
例：35曲目を選ぶとき
数字ボタンを、+10 +10 +10 5の順に押す。

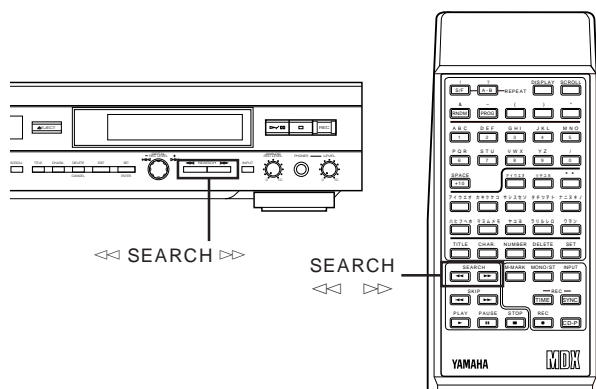
ディスクに記録されている曲数以上の数字を入力することはできません。



曲の中の聞きたい部分を探す

(サーチ)

次の2通りの方法があります。



探しかた	操作のしかた
「再生中に探す」 聞きながら探す	再生中、SEARCH◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。
「一時停止中に探す」 表示窓の再生時間を見ながら探す(高速サーチ)	一時停止中、SEARCH◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。(音は聞こえない。)



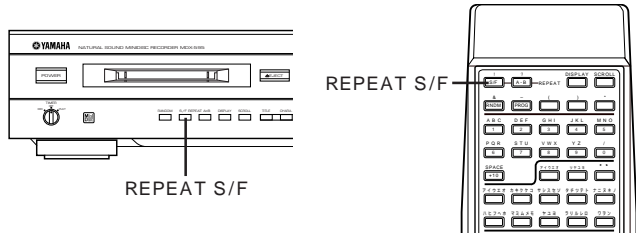
- サーチして最後の曲の終わりまで進んでしまうと、再生(サーチ)はストップします。
- 数秒の曲が連続している場合、正常にサーチできないことがあります。



繰り返し聞く

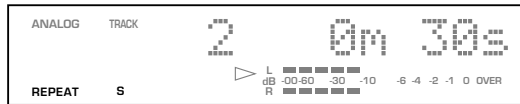
(リピート再生)

1曲だけ、または全曲を繰り返し聞きめます。



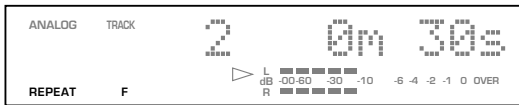
1曲だけを繰り返す (リピートシングル: REPEAT S)

REPEAT S/Fボタンを押して「REPEAT S」を表示させると、現在再生中の1曲だけを繰り返し聞きめます。(停止中に設定してから、再生をスタートすることもできます。)



全曲を繰り返す (リピートフル: REPEAT F)

REPEAT S/Fボタンを押して「REPEAT F」を表示させると、現在再生中のディスクを全曲繰り返し聞きめます(曲番順)。(停止中に設定してから、再生をスタートすることもできます。)



再生状態に応じて次のように繰り返し聞きめます。

再生状態	繰り返される内容
ふつうの再生(14ページ)	1曲だけを、または全曲を曲番順に
ランダム再生(22ページ)	全曲を繰り返すたびに曲順を変えて
プログラム再生(22ページ)	プログラムした曲順に

リピート再生をやめるときは...

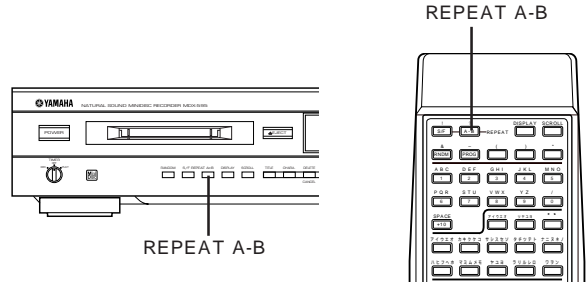
「REPEAT S」または「REPEAT F」が消えるまで、REPEAT S/Fボタンを押す。



聞きたい部分を繰り返し聞く

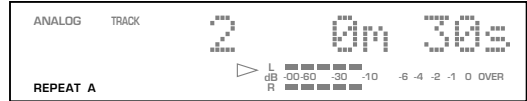
(A Bリピート)

聞きたい部分を指定して、繰り返し聞きめます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。2曲以上にまたがった部分は、繰り返し聞きません。



1. 始点(A点)を設定する。

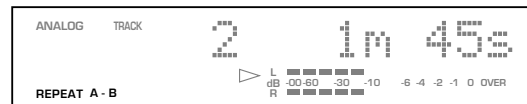
再生中に、繰り返す部分の始点(A点)でREPEAT A-Bボタンを押す。「REPEAT A」が点灯します。



2. 終点(B点)を設定する。

再生を続けるかSEARCHボタンで繰り返す部分の終点(B点)まで行き、もう1回REPEAT A-Bボタンを押す。

「REPEAT A - B」が点灯し、指定した部分を繰り返します。



A Bリピートを普通の再生に戻すには...

もう一度REPEAT A - Bボタンを押すとA-Bリピートは中止され(「REPEAT A - B」消灯)、そのまま普通の再生を続けます。

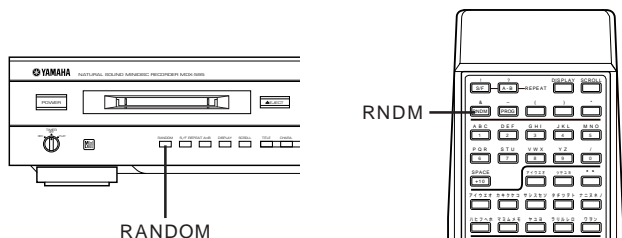
いろいろな再生のしかた.....



順不同に聞く

(ランダム再生)

全曲を曲番に関係なく、本機がランダム(無作為)を選んで、ひと通り再生します。



1. 停止中、または再生中にRANDOMボタンを押す。(リモコンではRNDMボタンを押します。)

ランダム再生が始まります。次の曲を選んでいる間は、「RandomSearch」が点滅表示されます。



ランダム再生をふつうの再生に戻すときは...
停止中にRANDOMボタンを押して、表示窓の「RANDOM」を消す。(リモコンではRNDMボタンを押します。)

ヒント ランダム再生中に頭出しできます。

ジョグダイヤルを回す。(リモコンではSKIP <<<または>>>ボタンを押す。)

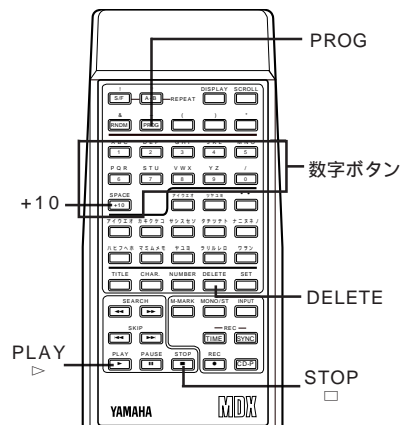
- ジョグダイヤルを右に回す(SKIP >>>を押す)と、次の曲をランダムに選んで再生します。
- ジョグダイヤルを左に回す(SKIP <<<を押す)と、再生中の曲の頭に戻って再生します。すでに再生し終わった曲には戻りません。



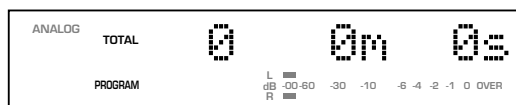
聞きたい曲を好きな順に聞く

(プログラム再生)

30曲までプログラムできます。

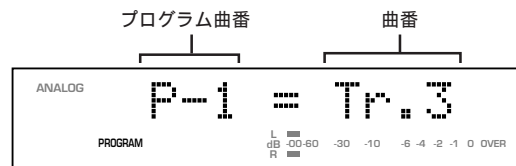


1. 停止中、PROGボタンを押して「PROGRAM」を表示させる。



2. 曲番を選ぶ。

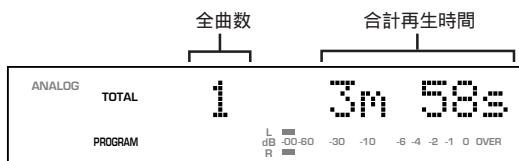
聞きたい順に曲番の数字ボタンを押していくと、選んだ曲がプログラムされます。



しばらくするとプログラム全体の曲数と合計再生時間を表示します。

10曲目以降を選ぶときは
+10ボタンを使う(20ページ)。

間違えたときは
DELETEボタンを押してから、正しい数字ボタン押す。



3. 手順2を繰り返して、聞きたい曲を順にプログラムする。

曲をプログラムするごとに、合計時間が表示されます。最大30曲までプログラムできます。

4. PLAY▷ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生をふつうの再生に戻すときは...
 停止中、PROGボタンを押して表示窓の「PROGRAM」を消す。
 (作成したプログラムは消去されます。)

電源を切ったりRNDMボタンを押した場合も、プログラムが解除(消去)されます。

ヒント 同じ曲を繰り返しプログラムできます。

プログラムしたい回数だけ数字ボタンを押す。

ヒント プログラムすべての再生が終わっても、表示窓の「PROGRAM」が点灯している間は作ったプログラムは残っています。

PLAY▷ボタンを押すと、同じプログラムをもう1度聞けます。

ご注意

プログラムの合計時間が255分を超えると、表示窓に「255mOver」と表示されます。

プログラムの内容を確認する

停止中、または再生一時停止中に、SKIP ◀◀または▶▶ボタンを押す。

プログラムの曲順で、曲番が表示されます。

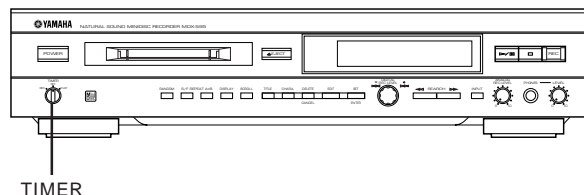
プログラムの内容を変更する

再生を始める前、プログラムの内容を変更できます。

変更のしかた	操作のしかた
曲を消す	停止状態でSKIP ◀◀, ▶▶ボタンを押して、消したいプログラム内容(「P-1=Tr.2」など)を表示させた状態で、DELETEボタンを押す。
曲を変更する	停止状態でSKIP ◀◀, ▶▶ボタンを押して、変更したいプログラム内容(「P-1=Tr.2」など)を表示させた状態で、リモコンの数字ボタンを押してトラックナンバーを入力する。
曲を追加する	停止状態で、プログラム内容(「P-1=Tr.2」など)が表示されていない状態で、リモコンの数字ボタンを押してトラックナンバーを入力する。(プログラムの最後に追加されます。)
すべてを変更する	停止中、PROGボタンを押して表示窓の「PROGRAM」を消すと、作成したプログラムは消去されます。改めてプログラムします。

タイマーを使って再生する

市販のタイマーをつなぎ、希望の時刻に再生を始めることができます。タイマーの取扱説明書もご覧ください。



1. 再生したいMDを入れる。

2. 本機のTIMERつまみを「PLAY」に合わせる。

3. タイマーを希望の時間に合わせる。
 タイマーの開始/終了時間をセットします。本機の電源が切れた後、セットした時刻に再生が始まります。

4. 再生が終了したら...
 本機のTIMERつまみを「OFF」に合わせる。



録音したMDを編集する

編集メニューについて

編集機能では、録音したディスクの好きなところで頭出しができるように曲を途中から分けたり、連続した2つの曲をつなぐなど、録音後に手直ししたり、曲番を指定するだけで曲をまるごと消すことができます。

ディスクや曲に名前を付けたりすることもできます。(タイトル機能 32ページ)

編集メニューには以下の11種類があります。

1枚のMDすべての曲を消す	
Disc Erase(ディスクイレース)	25ページ
1曲を消す	
Erase(イレース)	27ページ
曲を移動する	
Move(ムーブ)	27ページ
曲の一部分を消す	
A-B Erase(A-Bイレース)	28ページ
曲を分ける	
Divide(ディバイド)	29ページ
曲をつなぐ	
Combine(コンバイン)	30ページ
ディスクのタイトル名を消す	
Disc Title Erase(ディスクタイトルイレース)	26ページ
曲のタイトル名を消す	
Track Title Erase(トラックタイトルイレース)	26ページ
編集の取り消し	
Undo(アンドウ)	25ページ
ディスク(記録領域)の整理	
FRA Check(FRAチェック)	31ページ
TOCの書き込み	
TOC Write(TOCライト)	31ページ

編集するときの注意

「Protected」が表示されたときは...
ディスクが誤消去防止状態になっていて、曲を消すことができません。ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、曲を消してください。

編集を行った後は、TOCの書き込みを行ってください。
編集したあと、TOC Write(書き込み)を行わずに電源を切ると、編集した内容をディスクに記録させることができません。編集を行った後は、TOCを書き込む必要があります。31ページの「TOCの書き込み」を行ってください。

* 「TOC Writing」表示中は、編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

EDITボタンを押すたびに、編集メニューが切り替わり表示窓に表示されますが、表示されるメニューの内容は状況により異なります。

[DISC 表示中(停止状態)

- Disc Erase(ディスクイレース)
- Undo(アンドウ：編集後のみ)
- Title Erase(ディスクタイトルイレース)
- TOC Write(TOCライト：編集後のみ)
- FRA Check(FRAチェック)

[TRACK 表示中(停止状態)

- Move(ムーブ)
- Erase(イレース)
- Combine(コンバイン：2曲目以降を選択中のみ)
- Undo(アンドウ：編集後のみ)
- Title Erase(トラックタイトルイレース)
- TOC Write(TOCライト：編集後のみ)
- FRA Check(FRAチェック)

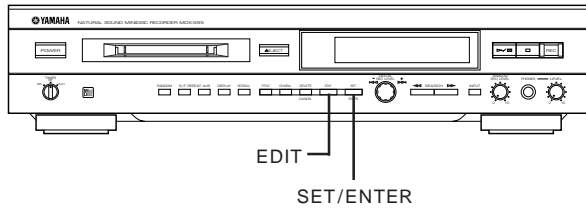
[TRACK 表示中(再生中、一時停止中)

- Move(ムーブ)
- Erase(イレース)
- A-B Erase(A-Bイレース)
- Divide(ディバイド)
- Combine(コンバイン：2曲目以降を選択中のみ)
- Title Erase(トラックタイトルイレース)

編集の取り消し

アンドゥー (Undo機能)

本機には、直前に実行した編集操作を取り消すアンドゥー機能があります。



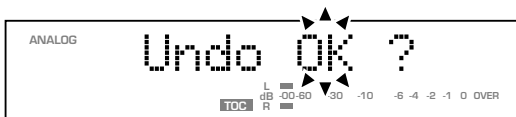
1. EDITボタンを押して「Undo ...」を表示させる。
(編集操作を何も行っていない場合は表示されません。)

「...」の部分には、取り消すことができる操作が表示されます。



(イレース後のアンドゥー画面)

2. SET/ENTERボタンを押す。
「Undo OK ?」が表示されます(「OK」点滅)。



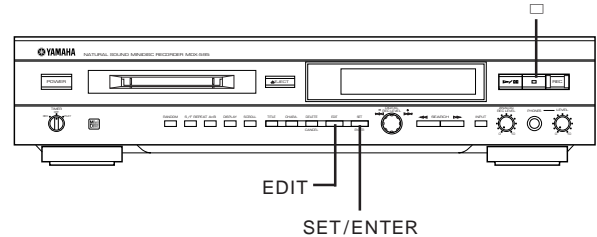
アンドゥーを中止するときはDELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

3. もう一度SET/ENTERボタンを押す。
アンドゥーが実行されます。

1枚のMDのすべての曲を消す

ディスク イレース (Disc Erase機能)

1度に、MDの全曲と全曲名、ディスク名(MDに記録しているすべての内容)を消します。



1. □(ストップ)ボタンを押す。
2. 「Disc Erase ?」が表示されるまで、EDITボタンを数回押す。



3. SET/ENTERボタンを押す。
「DiscEraseOK?」が表示されます(「OK」点滅)。



ディスクイレースを中止するときはDELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

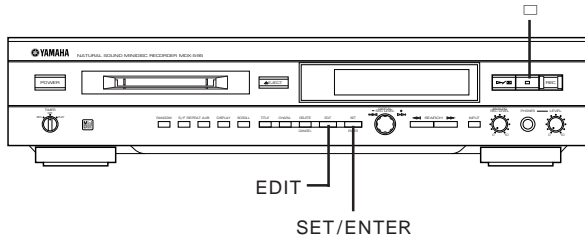
4. もう一度SET/ENTERボタンを押す。
ディスクイレースが実行されます。
「Complete」が表示されて消えると、MDの全曲と全曲名、ディスク名が消えます。

録音したMDを編集する

ディスクのタイトル名を消す

ディスク タイトル イレース
(Disc Title Erase機能)

ディスクのタイトル名を消します。



1. □(ストップ)ボタンを押す。
2. 「Title Erase?」が表示されるまで、EDITボタンを数回押す。



3. SET/ENTERボタンを押す。
「Disc Title」と「Erase OK?」が交互に表示されます。



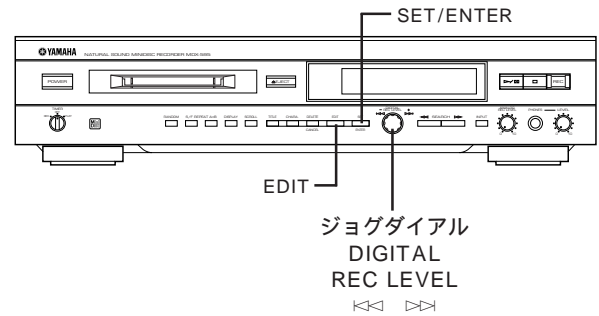
ディスクタイトルイレースを中止するときは、DELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

4. もう一度SET/ENTERボタンを押す。
ディスクタイトルイレースが実行されます。
「Complete」が表示されて消えると、ディスク名が消えます。

曲のタイトル名を消す

トラック タイトル イレース
(Track Title Erase機能)

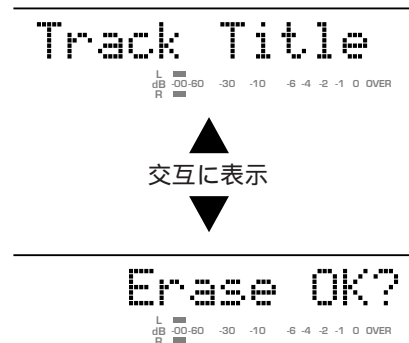
曲(1曲)のタイトル名(トラックタイトル)を消します。



1. 消すタイトル名の曲番(トラック)を選ぶ。
消すタイトル名の曲番が表示されるまで、ジョグダイヤルを回します。
2. 「Title Erase?」が表示されるまで、EDITボタンを数回押す。



3. SET/ENTERボタンを押す。
「Track Title」と「Erase OK?」が交互に表示されます。



トラックタイトルイレースを中止するときは、DELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

4. もう一度SET/ENTERボタンを押す。
トラックタイトルイレースが実行されます。
「Complete」が表示されて消えると、手順1で選んだ曲番のタイトル名が消えます。

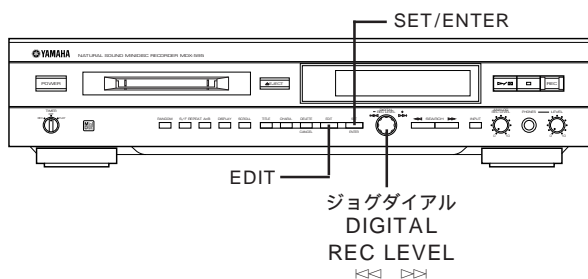
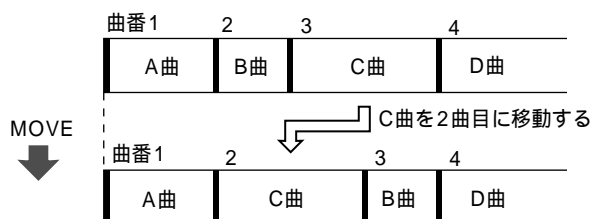
5. 続けてタイトル名を消すときは、手順1から4を繰り返す。

曲を移動する

ムーブ機能
(Move機能)

ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。移動後の曲番は、自動的に改めて連続した曲番が付きます。

例) C曲を2曲目に移動するとき



1. 移動する曲を選ぶ。

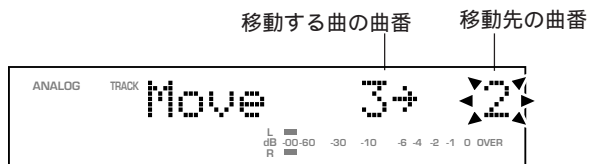
移動したい曲の曲番が表示されるまで、ジョグダイヤルを回します。

2. 「Move ?」が表示されるまで、EDITボタンを数回押す。



3. SET/ENTERボタンを押す。

移動する曲番と、移動先の曲番(点滅)が表示されます。



4. 移動先の曲番を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して、移動先の曲番を設定します。ムーブを中止するときはDELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

5. もう一度SET/ENTERボタンを押す。

ムーブが実行されます。「Complete」が表示されて消えると、曲が移動します。

1曲を消す

イレース機能
(Erase機能)

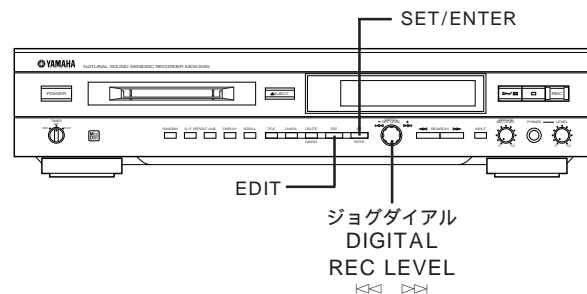
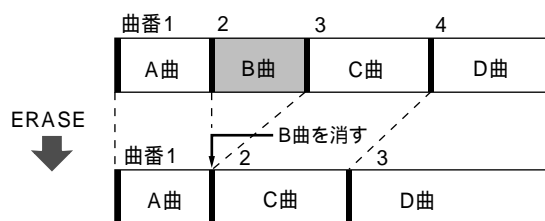
消したい曲の曲番を指定するだけで、録音した曲を簡単に消せません。消した曲番には次の曲が順に繰り上がり、自動的に改めて連続した曲番が付きます。

例えば、曲番1を消すと、元の曲番2が1に繰り上がります。(2曲以上消すときは、途中の曲番が変わらないように、後ろの曲から消すことをおすすめします。)

カセットテープのように録音済みの曲を消しながら録音する必要はありません。

曲番を指定するだけで、1曲をまるごと消せます。

例) B曲を消すとき



1. 消す曲を選ぶ。

消す曲の曲番が表示されるまで、ジョグダイヤルを回します。

2. 「Erase ?」が表示されるまで、EDITボタンを数回押す。



3. SET/ENTERボタンを押す。

「EraseOK?」が表示されます(「OK」点滅)。



イレースを中止するときはDELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

録音したMDを編集する.....

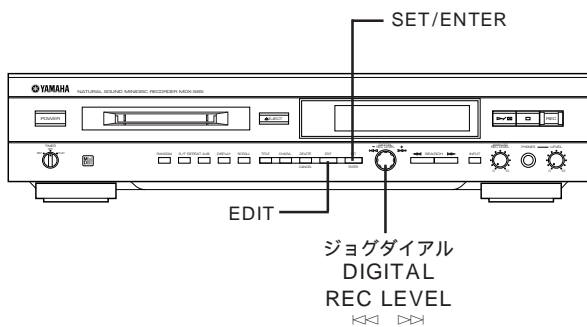
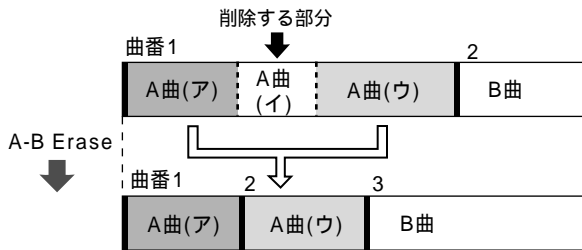
4. もう一度SET/ENTERボタンを押す。
イレースが実行されます。
「Complete」が表示されて消えると、手順**1**で選んだ曲が消えます。

5. 続けて曲を消すときは、手順**1**から**4**を繰り返す。

曲の一部を消す

(A-B Erase機能)

特定の曲の1部分を消します。消す部分は「始点(A)」と「終点(B)」で指定します。



ヒント 曲の頭の部分を消す場合は...
ディバイド機能 (29ページ)で曲を分け、イレース機能 (27ページ)で削除します。

1. 再生して、消す曲の曲番で一時停止する。

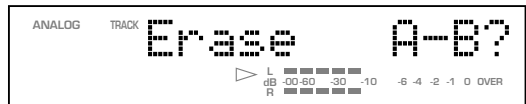
2. 一時停止中に、「A-B Erase ?」が表示されるまで、EDITボタンを数回押す。



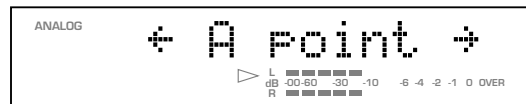
3. 始点(A)を設定する。
再生を開始して、消したい部分の頭まで再生されたら、SET/ENTERボタンを押すと始点(A)が設定され、「Erase A-」が表示されます(「_(アンダーバー)」点滅)。



4. 終点(B)を設定する。
消したい部分の最後まで再生されたら、SET/ENTERボタンを押すと終点(B)が設定されます。「Check」が表示した後、A-Bイレース後の状態を、繰り返しリハーサル演奏します。



5. 必要に応じて始点(A)終点(B)を微調整する。
EDITボタンを押すと、始点(A)終点(B)が交互に切り替わります。微調整したい始点(A)終点(B)を選びます。



始点(A)



終点(B)

ジョグダイヤルを回すと、設定された位置を -176 から +176の範囲で移動できます(約1秒)。



A-Bイレースを中止するときはDELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

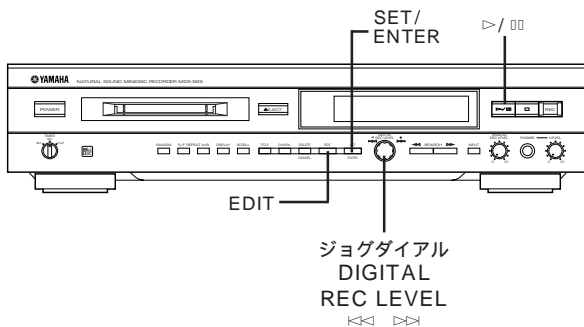
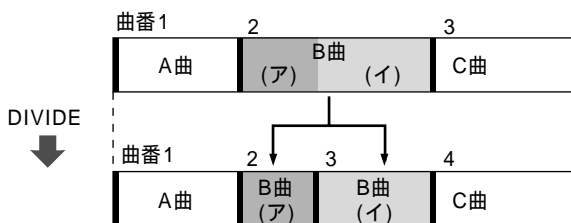
6. もう一度SET/ENTERボタンを押す。
A-Bイレースが実行されます。
「Complete」が表示されて消えると、設定した範囲が消えます。

曲を分ける

ディバイド
(Divide機能)

録音後に1曲を2つの曲に分け、新たに頭出しのための曲番を記録します。マニュアルマーキング(17ページ)で録音したMDなどで1つの曲番に複数の曲が録音されている場合や、曲の途中で頭出し点をつくるときに使います。分けた曲以降の曲番は順に1番ずつ加算され、自動的に改めて連続した曲番が付きます。

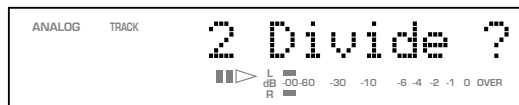
例) 2曲目をB曲とC曲の2つに分けるとき



1. 曲を分けるところで一時停止する。

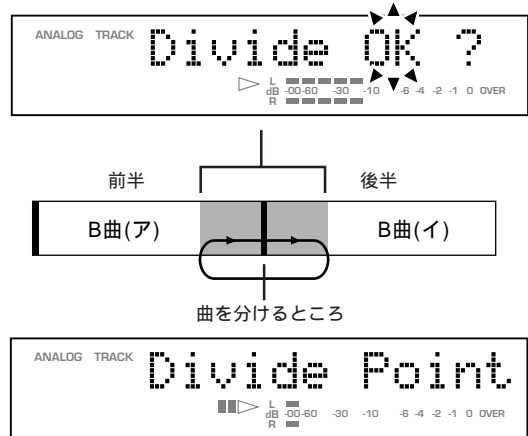
再生中に、曲を分けるところで▶/00(プレイ/ポーズ)ボタン(リモコンではPAUSE00ボタン)を押して、再生を一時停止にします。

2. 「Divide ?」が表示されるまでEDITボタンを数回押す。



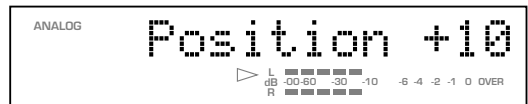
3. SET/ENTERボタンを押す。

「Check」を表示した後、「Divide OK?」(「OK」点滅)を表示して、分け目の前後が繰り返しリハーサル演奏します。(曲の分けるところで「Divide Point」を表示)



4. 分け目がずれているときは、分け目をずらす。

繰り返し再生される音を聞きながら、ジョグダイヤルを回して、少しずつ分け目をずらします。その曲(1曲)の中だけで最大-255から+255まで移動できます(±約2秒)。



5. もう一度SET/ENTERボタンを押す。

ディバイドが実行されます。「Complete」が表示されて消えると、曲が分かれます。分けた曲の頭(後半)で、再生ポーズ(一時停止)状態になります。

元の曲に曲名が付いているときは、後半の曲にも同じ曲名が付きます。

ディバイドを中止するときはDELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

ヒント 録音中に曲を分けられます。
マニュアルマーキング機能を使って曲を分けます(17ページ)。

録音したMDを編集する

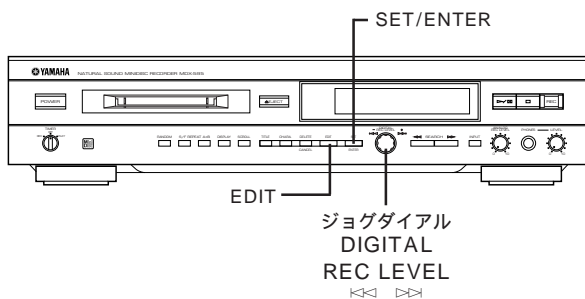
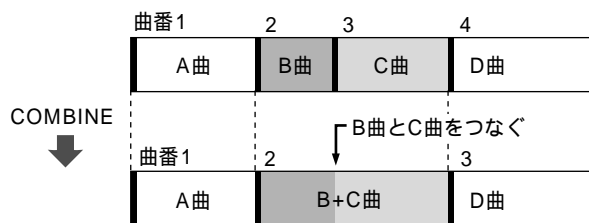
曲をつなぐ

コンバイン (Combine機能)

連続した2つの曲をつないで1曲にまとめます。いくつかの曲を続けて聞けるようにしたり、何度も停止してコマ切れで録音したものを1つにまとめたりするときなどにお使いください。

つなげたい曲が連続していない場合は、ムーブ機能 (27ページ)で曲を移動しましょう。

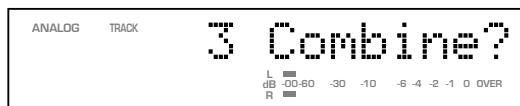
例) B曲とC曲をつなぐとき



1. つなぐ曲を選ぶ。

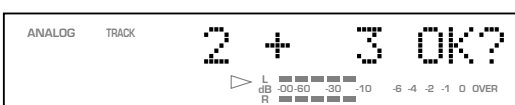
つなぐ曲の曲番が表示されるまでジョグダイヤルを回します。表示した曲を1つ前の曲とつなぎます。例えば、2曲目と3曲目をつなぐときは、3曲目を表示させます。

2. 「Combine ?」が表示されるまで、EDIT ボタンを数回押す。



3. SET/ENTERボタンを押す。

「Check」が表示された後、「2 + 3 OK?」が表示されて、つなぎ目(1曲にする前の曲の終わりと後ろの曲の初め)の部分を繰り返し、リハーサル演奏します。



4. もう一度SET/ENTERボタンを押す。

コンバインが実行されます。「Complete」が表示されて消えると、曲がつながります。つないだ曲の頭で、再生ポーズ(一時停止)状態になります。つないだ2曲の両方に曲名がついているときは、後の曲名は消えます。

コンバインを中止するときはDELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

ご注意

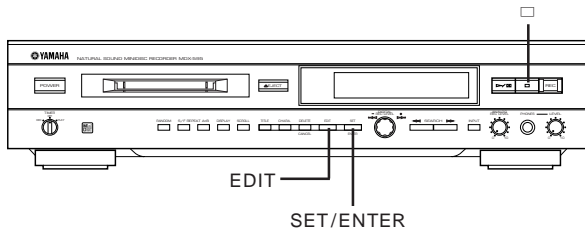
「Can't Edit」が表示されたら、その2曲は1曲につなぐことができません。何度も編集を繰り返すと、つなぐことができない曲ができる場合があります。これはミニディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。

ディスク(記録領域)の整理

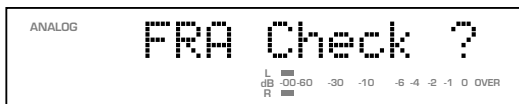
チェック
(FRA Check 機能)

FRA : Freely Recordable Area

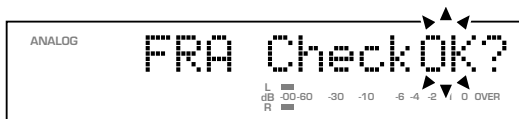
編集操作を頻繁に行うと、ディスク内に無駄なスペースが増えてしまい本来録音できるはずの時間まで録音できなくなります。その無駄なスペースのうち使用可能なスペースが無いがチェックして、無駄なスペースをできるだけ使用可能にするのがこの機能です。



1. □(ストップ)ボタンを押す。
2. 「FRA Check ?」が表示されるまで、EDITボタンを数回押す。



3. SET/ENTERボタンを押す。
「FRA CheckOK?」が表示されます。(「OK」点滅)



FRAチェックを中止するときは、DELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

4. もう一度SET/ENTERボタンを押す。
FRAチェックが実行されます。
「Complete」が表示されて消えます。

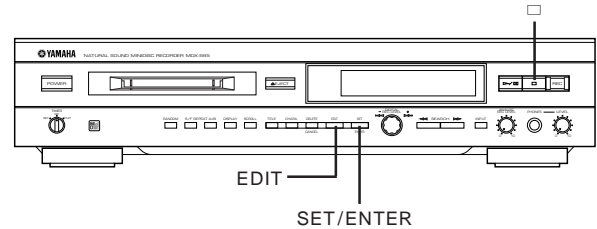
TOCの書き込み

ライト
(TOC Write 機能)

TOC : Table of Contents

編集を行ったあとは、TOC Write(書き込み)を行わずに電源を切ると、編集した内容をディスクに記録させることができません。編集作業が終了した時点で、TOCを書き込む必要があります。編集の最後には、このTOC Writeを行ってください。

(TOC Writeを行うと、Undo(編集の取り消し)はできなくなります。)



1. □(ストップ)ボタンを押す。
2. 「TOC Write ?」が表示されるまで、EDITボタンを数回押す。



3. SET/ENTERボタンを押す。
「TOC WriteOK?」が表示されます。(「OK」点滅)



TOCライトを中止するときは、DELETE/CANCELボタン、または□(ストップ)ボタンを押します。

4. もう一度SET/ENTERボタンを押す。
TOCライトが実行されます。
「TOC Writing」が点滅して消えます。



曲名やディスク名を付ける.....

本機は、アルファベットの大きい文字や小さい文字、数字、記号を使って、曲名やディスク名を付けることができます(タイトル機能)。1曲につき250文字まで入力できます(1枚のMDで最大約1700文字。カタカナ1文字は2文字として数えます)。この操作は、本体とリモコンの両方で行えます。

ヒント タイトルのアンドゥー

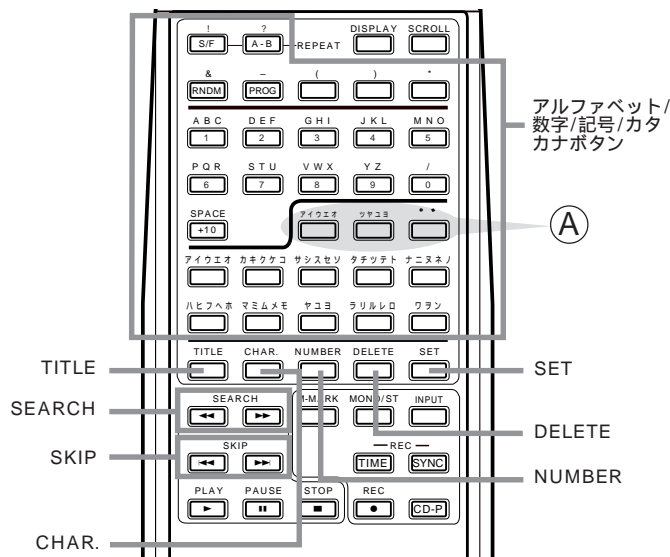
タイトルを付けた後にアンドゥー(取り消し)することができます(25ページ)。ただし、再生中、録音中、ポーズ中に変更したタイトルはアンドゥーできません。

タイトルを付けた後は

TOCの書き込みを行ってください。
タイトルを付けたあと、TOC Write(書き込み)を行わずに電源を切ると、タイトルを付けた内容をディスクに記録させることができません。タイトルを付けた後は、TOCを書き込む必要があります。31ページの「TOCの書き込み」を行ってください。
* 「TOC Writing」表示中は、編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。



リモコンで曲名やディスク名を付ける



1. TITLEボタンを押す。

付けるタイトルが、曲名かディスク名かで、操作するときが異なります。次の表にしたがって操作してください。

付けるタイトル	操作するとき
曲名	再生中、再生一時停止中、録音中
ディスク名	MDを入れた直後、停止中

ご注意

再生中にタイトルを付ける場合、タイトルの入力が終わるまでその曲が繰り返し再生されます。

2. 希望の文字のアルファベット/数字/記号/カタカナボタンを押す。

アルファベット(大文字) 記号

例)ABCボタンを押すたびに「A」「B」「C」が選択できます。記号も同じように選択できます。

アルファベット(小文字)

例)CHAR.ボタンを押した後、ABCボタンを押すたびに「a」「b」「c」が選択できます。記号も同じように選択できます。CHAR.ボタンを押すと「大文字入力 小文字入力」が切り替わります。

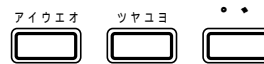
数字

例)NUMBERボタンを押した後、1ボタンを押すと「1」が、2ボタンを押すと「2」が選択できます。

カタカナ

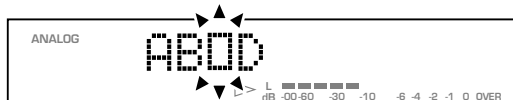
例)アイウエオボタンを押すたびに「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」が選択できます。

また下記ボタン(イラスト(A)部分)を押すことにより、小さなカタカナや濁音、撥音、促音を入力できます。



カーソル表示には2種類あります。

カーソル...カーソル位置にすでに文字がある時に表示。



カーソル...カーソル位置が空白(ブランク)の時に表示。



ヒント SKIP<<<または>>>ボタンを押し続けて、希望の文字を選ぶこともできます。

3. 文字を確定する。

SETボタンを押すと文字が確定します(入力されます)。カーソルは次の文字へ移動します。記号または選択した文字ボタン以外の選択ボタンを押した場合は、SETボタンを押さなくても確定します。

4. 手順2と3を繰り返して、希望のタイトルを表示させる。

間違えた文字を修正するときは...

SEARCH<<<または>>>ボタンで消したい文字を点滅させ、DELETEボタンを押して文字を消します。改めて文字を入力します。

スペースを入力するには...

SPACEボタンを押す、または「」表示の時にSETボタンを押します。

..... 曲名やディスク名を付ける

5. TITLEボタンを押す。

曲名またはディスク名が付ききます。曲名またはディスク名が最初からスクロール表示されます。

タイトルを付けるのを途中でやめるときは□(ストップ)ボタンを押します。

注意

文字(タイトル)の入力が終わる前に、DISPLAYボタンを押すと、文字が確定されて曲名またはディスク名が更新されます。

3. 文字を確定する。

SET/ENTERボタンを押すと文字が確定します(入力されます)。カーソルは次の文字へ移動します。

4. 手順2と3を繰り返して、希望のタイトルを表示させる。

間違えた文字を修正するときには...

SEARCH<<または>>ボタンで消したい文字を点滅させ、DELETE/CANCELボタンを押して文字を消します。改めて文字を入力します。

スペースを入力するには...

カーソルが点滅した状態のまま、SET/ENTERボタンを押す。

5. TITLEボタンを押す。

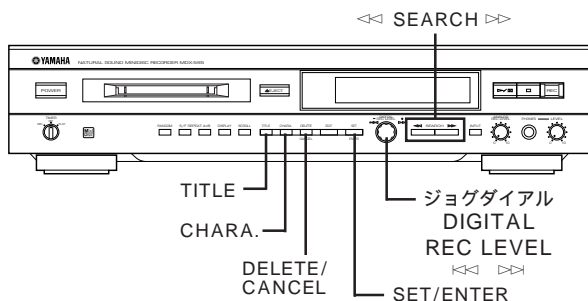
曲名またはディスク名が付ききます。曲名またはディスク名が最初からスクロール表示されます。

タイトルを付けるのを途中でやめるときは□(ストップ)ボタンを押します。

注意

文字(タイトル)の入力が終わる前に、DISPLAYボタンを押すと、文字が確定されて曲名またはディスク名が更新されます。

本体で曲名やディスク名を付ける



1. TITLEボタンを押す。

付けるタイトルが、曲名かディスク名かで、操作するときが異なります。次の表にしたがって操作してください。

付けるタイトル	操作するとき
曲名	再生中、再生一時停止中、録音中
ディスク名	MDを入れた直後、停止中

2. 文字を選ぶ。

CHARA.ボタンを押して文字の種類を選びます。

A(アルファベット大文字).....A, B, C.....X, Y, Z

a(アルファベット小文字).....a, b, c.....x, y, z

0(数字、記号).....0, 1, 2.....@, _ , ,

ア(カタカナ)..... ` , ° , ア,イ,ウ.....ワ,ヲ,ン,
ア, イ, ウ, エ, オ, ツ, ヤ, ユ, ヨ
(小さなカタカナ)

希望の文字が表示されるまで、ジョグダイヤルを回します。選んだ文字が点滅します。(「_」の点滅はスペースを意味します。)

ジョグダイヤルで入力できる記号は以下の通りです。

! # \$ % & ' () * + , - . /
: ; < = > ? @ _ `

本体キーで直接入力できるのは、記号の&(RANDOM), !(REPEAT S/F),?(REPEAT A-B)があります。



名前やディスク名を変更する

1. ディスク名の場合「Disc Title Erase」(26ページ)、曲名の場合「Track Title Erase」(26ページ)で変更するタイトル名を消す。

2. 曲名やディスク名を付け直す。

「本体で曲名やディスク名を付ける」の手順1~5(33ページ)を行うか、または、「リモコンで曲名やディスク名を付ける」の手順1~5(32ページ)を行う。



その他

デジタル録音のルール

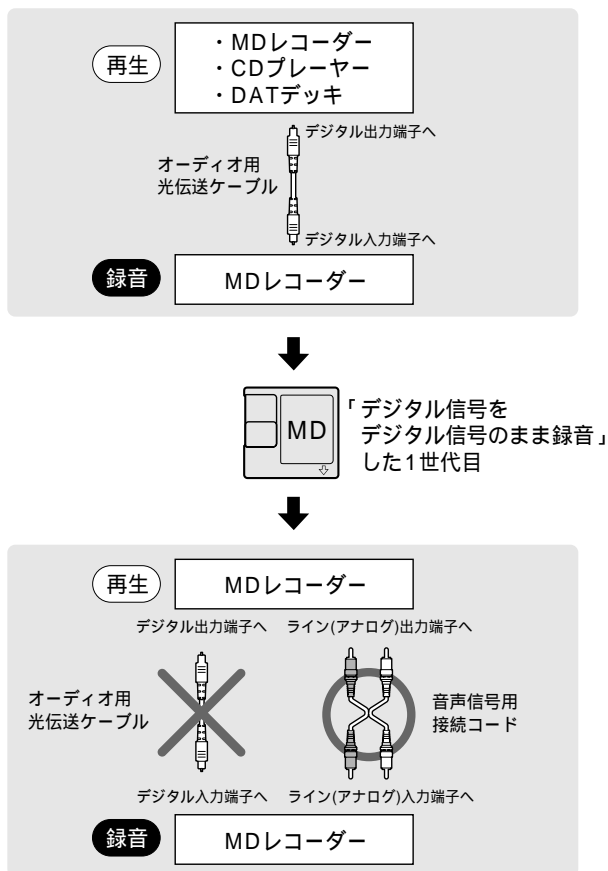
(シリアルコピーマネージメントシステム)

デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル録音することはできません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」というデジタル信号どうしのコピーを「1世代まで」と規制したものです。2つの原則があります。

原則1

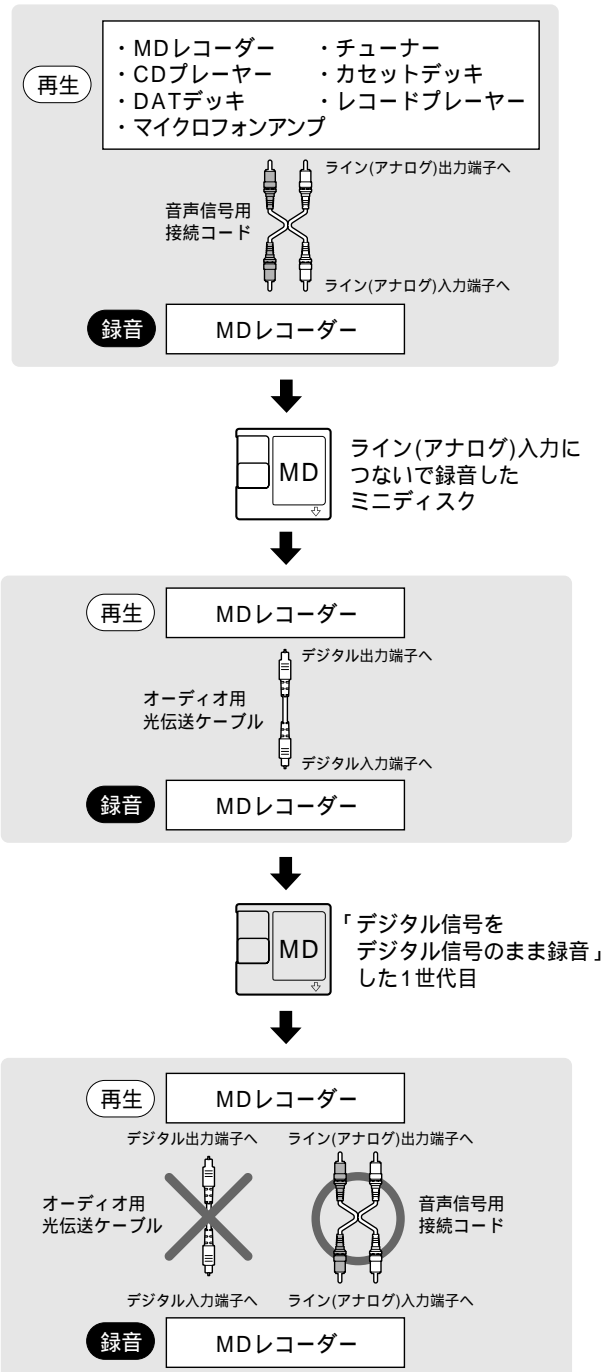
コンパクトディスク(CD)、またはデジタルオーディオテープ(DAT)、ミニディスク(MD)ソフトから、MDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。

ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものを、他のMDへ「デジタル信号のままデジタル録音」できません。



原則2

アナログレコードやFM放送などを本機で録音したMDから、他のMDへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したミニディスクから、他のミニディスクへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。



MDレコーダーどうしをアナログ端子につないだときは、何回でも録音できます。

システム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音可能時間(60分、74分)に達していなくても、「Can't REC」が表示される。

MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Can't REC」の表示が出ます。255曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚目のMDに分けて録音してください。

曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。

曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。

MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視するので、短い曲を消しても時間が加算されないことがあります。

曲をつなげない。

編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

MDに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分)に一致しない場合がある。

通常、1クラスタ(約2秒)が最小単位で録音されます。それに満たないものでも2秒分のスペースを使います。このため、実際に使用できる時間は少なくなります。

また、MDに傷があると、その部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。
編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがあります。

曲番が正確につかないことがある。

デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができた場合、曲番が正確につかないことがあります。また、ミュージックシンクロ録音を行った場合、録音するもの内容によっては、曲番が正確につかないことがあります。

「TOC Reading」の表示がなかなか消えない。

購入したばかりの録音用MDを入れると、通常より「TOC Reading」表示が長く表示されます。

録音済みの部分を消しながら録音すると

MDの残り時間が正確に表示されないことがあります。

何度も繰り返すと、消しながら録音できなくなることがあります。

このようなときは、編集(曲を消すなど)を行ってから録音してください。

録音した時間に対して、録音後の残り時間が、録音前の残り時間よりもかなり減ってしまうことがあります。

曲の途中のノイズなどをこの方法で消すと、曲の長さが変わったりしてしてしまうので適しません。

録音中に曲名を付けることができません。

モノラルフォーマットのディスクでは時間が正確に表示されないことがあります。

メッセージ表示一覧

お使いになっているとき、状況により、英語のメッセージが出ます。日本語の意味は下の表の通りです。

メッセージ	意味	解決方法
Can't Play!	再生できない状態です。(MDディスクが無い状態で、タイマー再生を始めようとした。)	再生したいMDディスクを入れて、タイマー再生してください。
Can't REC	ディスクの残量不足などのため録音できません。	ディスクを新しいものなどに交換してください。
Can't Edit!	エディット操作ができませんでした。	システム上の制約により、編集できません。
Can't Copy	コピー(録音)できません。	デジタル録音できない状態になっています(「デジタル録音のルール」34ページ)
DIGin Unlock	入力ソースの電源が入っていないなど、デジタル録音できない状態になっています。	15ページの「録音するときのご注意」を参照してください。
Disc Full	MDの残り時間が少ないため録音できません(「システム上の制約について」35ページ)	ディスクを新しいものなどに交換してください。
Program Full	プログラムがいっぱいです。	プログラムにすでに30曲入力されているため、これ以上追加できません。
Title Full	タイトルがいっぱいです。	曲名、ディスク名にすでに250文字入力されているため(カタカナ文字は1文字を2文字として数えます。)これ以上追加できません。
Not Audio	音楽MD以外のディスクが挿入されています。	ディスクを交換してください。
Protected	MDが誤消去防止状態(ライトプロテクトON)になっています。	ライトプロテクトを外すか、ディスクを交換してください。
Tr Protected	トラックプロテクトがかかっているため編集できません。	ディスクを交換してください。
PlayBack MD	再生専用ディスクに録音・編集しようとした。	録音用ディスクと交換してください。
MONITOR OUT	入力モニター中です。	-
TMP Over!!	ユニットの温度が高くなりすぎました。	電源を切り、電源コードをコンセントから外して、しばらく時間をおいてから再接続してください。
TOC Writing	TOC情報をディスクに書き込んでいます。	-
TOC Full	TOCエリアが一杯になりました。	ディスクを交換してください。
UTOQ W Error	UTOQ(User Table of Contents)の書き込みでエラーが発生しました。	-
UTOQ ERR	UTOQデータに異常があります。	ディスクを交換してください。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。

本機使用中に、強い外来ノイズ(落雷・過大な静電気など)を受けたり、誤った操作をした場合などは、本機が正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源を切った後に電源コードをコンセントから抜き、約30秒後に再び接続して操作してください。

現象	解決方法
操作を受けつけない。	MDが汚れている、または損傷しているので新しいMDと取り替えてください。
再生できない。	結露(内部に水滴が付着)しているのでMDを取り出して、そのまま数時間置いてください。 電源を入れてください。 MDの矢印の向きに合わせて差し込んでください。 何も録音されていないMDが入っているので、録音されているMDと取り替えてください。
録音できない。	MDが誤消去防止状態になっている(「Protected」が表示される)ので、MDの誤消去防止つまみをもどして孔を閉じてください。 音源と正しく接続されていないので接続し直してください。 録音レベルが小さすぎるので、録音レベルを調節してください。 アナログ(ライン入力)の録音はANALOG REC LEVELつまみ、デジタル(光入力)の録音はDIGITAL REC LEVELつまみで調節します。 録音用ディスクと取り替えてください。 残り時間が充分ある録音用ディスクと取り替えてください。または、不要な曲を消してください。 録音中に電源コードが抜かれた、または停電になったため、それまでの録音の内容は失われる恐れがあります。正常に録音できていないときは、はじめから録音し直してください。
雑音が多い。	テレビなどから充分離しておいてください。



索引

あ

一時停止	12, 14
移動する(MOVE機能)	27
入れる	
MDを入れる	12, 14
上書き録音	17
A-Bリピート	21
FRA(エフアールエー : フリーリールレコーダブルエリア)	
ディスク(記録領域)の整理	31
MD(エムディー : ミニディスク)	
再生用MD(MDソフト)	19
録音用MD	12
取り扱いかた	6
お手入れ	6

か

繰り返し聞く	
1曲だけを繰り返す	21
全曲を繰り返す	21
聞きたい部分を繰り返す(A-Bリピート)	21
消す(イレース機能)	
1曲ずつ消す	27
1枚のMDのすべての曲を消す(Disc Erase機能)	25
1曲中の一部分を消す(A-B Erase機能)	28
ディスクのタイトル名を消す(Disc Title Erase機能)	26
曲のタイトル名を消す(Track Title Erase機能)	26
高速サーチ	20
故障かな?	37
誤消去防止つまみ	13
コード	
オーディオ接続コード	8, 9
オーディオ用光伝送ケーブル	8, 9

さ

サーチ	20
再生する	14
参考仕様	40
サンプリングコンバーター機能	13
システム上の制約	35
シリアルコピーマネージメントシステム	34
接続	
アナログ接続	9
デジタル接続	9

た

タイマー	
再生	23
録音	18
タイムレスキュー録音	16
ダイレクト選曲	20
つなく(COMBINE機能)	30
トック(TOC : Table of Contents)	13, 14, 15, 24
取り出す	
MDを取り出す	13, 14

な

名前を付ける(タイトル機能)	
リモコンで曲名やディスク名を付ける	32
本体で曲名やディスク名をつける	33
曲名やディスク名を変更する	33

は

表示窓	19
付属品	8
プログラム再生	22
プログラム内容の確認	23
プログラム内容の変更	23
編集メニュー	24
編集の取り消し(アンドゥー機能)	25

ま

マニュアル(MANUAL)表示	17
オートマーキング	17
マニュアルマーキング	17
ミュージックシンクロ録音	16
メッセージ表示	36
モニターアウト機能	9
モノラル録音	18

ら

ランダム再生	22
リピート再生	
1曲リピート	21
全曲リピート	21
リモコン	8
録音する	12
残り時間を調べる	19
録音レベル調節	15

わ

分ける(DIVIDE機能)	29
-----------------	----



参考仕様

ミニディスクレコーダー部

形式	ミニディスク デジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
レーザー	半導体レーザー($\lambda = 785\text{nm}$)
録音再生時間	最大74分(MDW-74使用時) モノラル録音再生では倍になります。
回転数	約400~900rpm(CLV)
エラー訂正方式	ACIRC (Advanced Cross Interleave Reed-solomon Code)
サンプリング周波数	44.1kHz(サンプリングコンバーター内蔵: 32kHz, 48kHzは44.1kHzに変換して録音)
コーディング	ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding)
ADコンバーター	20ビット $\Delta\Sigma$ 方式(128fs)
DAコンバーター	20ビット $\Delta\Sigma$ 方式(128fs)
チャンネル数	2 ch(ステレオ) 1 ch(モノラル長時間モード)
周波数特性	$\pm 0.5\text{dB}$ (5~20,000Hz)
SN比	再生時99dB以上
ワウフラッター	測定限界値($\pm 0.001\%$ W. PEAK)以下

入出力端子

入力端子	デジタル2(光2) アナログ1
出力端子	デジタル1(光1) アナログ1、 ヘッドフォン1
アナログ入力感度	ライン 300mV / 56k Ω
アナログ出力レベル	2.0 \pm 0.5Vrms
ヘッドフォン出力(-20dB)	300 \pm 60mV
デジタル入力	光: 光受信モジュール(EIAJ)
デジタル出力	光: 光送信モジュール(EIAJ)

電源・その他

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	13 W
寸法	435 x 96 x 288 mm (幅 x 高さ x 奥行)
重量	4.1 kg

付属品

8ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。



ヤマハホットラインサービスネットワーク....

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- 技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434 - 3100
- 東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488 - 6625
- 浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262
- 広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
お客様ご相談センター
TEL (03) 5488 - 5500

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460 - 3451

品質保証室 TEL (053) 460 - 3405

住所および電話番号は変更になることがあります。